

令和6年度使用

教科用図書採択選定資料

小学校用

宮城県教育委員会

目 次

| | | | | | |
|----|------|---------------|----|---|----|
| 1 | 国 語 | 国 語 | 1 | ~ | 3 |
| | | 書 写 | 4 | ~ | 6 |
| 2 | 社 会 | 社 会 | 7 | ~ | 9 |
| | | 地 図 | 10 | ~ | 11 |
| 3 | 算 数 | | 12 | ~ | 17 |
| 4 | 理 科 | | 18 | ~ | 23 |
| 5 | 生 活 | | 24 | ~ | 30 |
| 6 | 音 楽 | | 31 | ~ | 32 |
| 7 | 図画工作 | | 33 | ~ | 34 |
| 8 | 家 庭 | | 35 | ~ | 36 |
| 9 | 体 育 | 保 健 | 37 | ~ | 42 |
| 10 | 英 語 | | 43 | ~ | 48 |
| 11 | 道 徳 | | 49 | ~ | 54 |

| 種 目 | 国 語 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 2 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 国 語 1 0 9 1 1 0 2 0 9 2 1 0 3 0 9 3 1 0 4 0 9 4 1 0 5 0 9 6 0 9 | 書 名 | あ た ら し い こ く ご 一上 一下 新 し い 国 語 二上 二下 新 し い 国 語 三上 三下 新 し い 国 語 四上 四下 新 し い 国 語 五 新 し い 国 語 六 |
|---|--|---|----|---|--|--------|---|
| | | | 東書 | | | | |
| 1 内 容 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な言語活動を通して、国語で正確に理解し、適切に表現する資質・能力を段階的に身に付けられるよう配慮されている。 ○ 単元を通じて育成する資質・能力が具体的に記載されており、指導事項を重点化することで、知識・技能が確実に習得できるよう配慮されている。 ○ 児童の心身の発達の段階や内容の系統性を考慮した学習過程で構成されており、見通しを持ち主体的に取り組むことができるよう工夫されている。 ○ 児童の興味・関心や発達の段階に応じて作品や言語活動が教材化されており、想像力や言葉の持つよさを日常生活で活用できるよう配慮されている。 ○ 児童の日常生活や今日的な課題について偏りがないように取り上げられている。また、資料の出所や出典も明らかである。 | | | | | | |
| 2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 教科の目標を踏まえて、単元で育成する資質・能力を「言葉の力」として明確に示されており、6年間を通して系統的に配列されている。 ○ 1単元1領域を原則として指導事項を重点化するとともに、各領域の指導事項の系統性が図られ、学習が積み重なるよう配慮されている。 ○ 単元末に手引きが配列されており、児童が課題意識や目的意識を持って学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ○ 児童の関心や発達の段階に合わせて適切な教材が取り上げられている。学習指導要領の内容に応じて、適切な時数が配当されている。 ○ 単元の冒頭に「思い出そう」が二次元コードで提示されており、領域ごとの学習のつながりと領域相互の関連に配慮がなされている。 | | | | | | |
| 3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「見通す」「取り組む」「ふり返る」と、全学年・全領域で学び方が統一されており、特に「取り組む」では、「言葉の力」を身に付けるための学び方が明確に記されている。 ○ 「言葉の力」や「国語の学習の進め方」を通して、児童が学習のポイントを押さえながら、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう工夫されている。 ○ 単元ごとの「言葉の力」や「学習の流れ」が示されることで、児童の多様な個性や能力に広く対応するとともに、児童が何をどのように学ぶのか捉えやすくなっている。 ○ 「生かそう」を通して、他教科や総合的な学習の時間との関連や、実生活の様々な場面での活用に配慮がなされている。 ○ 特に上学年において、単元の導入で既習の「言葉の力」との関連を図る二次元コードが提示されており、学びの系統が図られている。 | | | | | | |
| 4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学年に応じた表記や表現が工夫されており、記号やマーク等で学習内容が把握しやすくなっている。 ○ 表紙や挿絵、キャラクター等が、学年の発達の段階に応じて、児童が親しみを持てるよう工夫されている。 ○ 独自開発の教科書体を使用しており、読みやすさだけでなく文字指導にも役立てることができるよう配慮している。 ○ 紙面内の文字や図版などの区別が明確で、配置や色使いが工夫されていることで、児童が学習に集中して必要な情報を捉えられるよう考慮されている。 ○ 再生紙や植物油インクを使用し、環境への配慮がなされている。十分な強度と軽量化が図られた用紙を使用しており、堅ろうな針金綴じの製本となっている。 | | | | | | |

| 種 目 | 国 語 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 1 7 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 国 語 | 書 名 | ひろがることば しょうがくご 一上 一下 ひろがることば 小学国語 二上 二下 ひろがる言葉 小学国語 三上 三下 ひろがる言葉 小学国語 四上 四下 ひろがる言葉 小学国語 五上 五下 ひろがる言葉 小学国語 六上 六下 |
|---------------------------|--|---|-----|---|--------|--------|--|
| | | | 教出 | | | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元のねらいを明確にした多様な言語活動が設定されており、他者や教材、自己と対話し、協働的な学びが展開できるよう工夫されている。 ○ 学習の進め方が児童に分かるように示されており、見通しを持ち主体的に取り組めるように工夫されている。 ○ 日常生活に活用でき、興味・関心に根付いた言語活動が教材化されており、児童の学習意欲が喚起されるように工夫されている。 ○ 他教科や実生活で生かせる内容を教材化しており、学習の充実と発展を図るように工夫されている。 ○ 現代の諸課題に関する教材や文学教材が幅広く網羅されている。また、作者や画家の略歴等が示され、資料の出所や出典も明らかである。 | | | | | | |
| 2 組織と配 列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の指導事項に即した内容がバランスよく配列されていることで、学習の効果が上がるように配慮されている。 ○ 具体的な言語活動が設定されており、学習の展開や段階を明示することで、内容のまとまりが分かりやすく示されている。 ○ 「つながるひろがる」や付録「楽しく読もう」等により、基礎的・基本的な内容から、発展的な学習が進められるよう工夫されている。 ○ 発達の段階に応じた教材が選定され、系統化が図られている。学校行事等を考慮した時数配分であり、柔軟に対応できるよう配慮されている。 ○ 地域的な偏りがなく、E S D・S D G s への取組、防災教育や環境教育等、日常生活や学校生活に関連した教材が配列されている。 | | | | | | |
| 3 学習と指 導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 発達の段階に応じた学びの見通しを持たせるための工夫があり、「ここが大事」等、各単元で身に付ける力が明確に記されている。 ○ 「見通しをもとう」において、学習の進め方が明確に記されており、児童が主体的・対話的で深い学びを実践することが容易である。 ○ 「学習のてびき」において、学習のめあてと振り返りを照応させることで、児童が学習を通して身に付く力を自覚しながら自己の学びを調整することが可能になっている。 ○ 各学年において、「地域愛」「防災」「環境」「国際理解」「生命」等、他教科や総合的な学習の時間との関連が図られている単元が配置されている。 ○ 「読むこと」領域における挿絵等では、文章との関連が図られており、場面の様子や筆者の説明がより理解しやすくなるよう工夫されている。 | | | | | | |
| 4 表現と体 裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 表記、表現については、全学年にわたり統一的なルールのもと、正しい表記の仕方や用法が身に付くように、発達の段階に応じて配慮されている。 ○ 表紙は2学年ごとに同じテーマで描かれており、児童が親しみを感じられるように工夫されている。上下巻の二分冊にすることで軽量化が図られている。 ○ 文字は読みやすく、児童の発達の段階や教材に合わせた大きさになっており、色分けや太さで学習のポイントが分かるよう工夫されている。 ○ 上下巻の分冊にしていることで、図表等の大きさも適切で読み取りやすくなっている。内容が区別できるように、色使いと色彩のバランスに配慮されている。 ○ 製本は堅ろうである。用紙は軽量の再生紙を使用し、植物油インクを用いて印刷をしており、環境への配慮がなされている。 | | | | | | |

| 種 目 | 国 語 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 3 8 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 国 語 1 1 3 1 1 4 2 1 3 2 1 4 3 1 3 3 1 4 4 1 3 4 1 4 5 1 3 6 1 3 | 書 名 | こくご 一上 一下 こくご 一上 二下 国語 三上 三下 国語 四上 四下 国語 五 国語 六 |
|---|--|---|-----|---|--|--------|--|
| | | | 光村 | | | | |
| 1 内 容 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 現代的なテーマや文学の名作、日常生活を教材化し、思考力、判断力、表現力等が身に付くよう単元構成が工夫されている。 ○ 学習の進め方の提示、多様な言語活動が掲載され、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう工夫されている。 ○ 目標や振り返り、心身の発達の段階に応じた学習過程により、学習意欲を喚起するとともに自己の学びを振り返ることができるよう配慮されている。 ○ 学習指導要領の言語活動例に沿った言語活動が扱えるように各学年の教材が設定されており、学習の充実と発展を図ることができるよう工夫されている。 ○ 防災教育や人権教育、伝統文化、情報等、幅広い分野から偏りなく取り上げられている。作者の略歴が明示され、資料の出所や出典も明らかである。 | | | | | | |
| 2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の各学年の目標及び内容に示された領域の指導事項を受けて、6年間を通して組織的、系統的に単元が配列されている。 ○ 巻頭「〇年生で学ぶこと」では、前学年までに学習したことが明示されており、言語活動を通して正確に理解し適切に表現する力を習得できるよう工夫されている。 ○ 「手引き」で学習の流れをつかんだり、「たいせつ」「いかそう」で身に付けた力を他教科の学習等に生かしたりすることができるように工夫されている。 ○ 領域の分量が適切でバランスが良い。学年の発達の段階と学習の持続性を考慮し、単元時数も配慮されている。 ○ 教材は、農村漁村、都市等の地域性に偏りがなく、バランスの取れた構成になっている。 | | | | | | |
| 3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭「国語の学びを見わたそう」において、学ぶ意義や学び方、前学年の既習事項などが示されており、児童が主体的に言語活動に取り組めるよう配慮されている。 ○ 児童の興味・関心に基づいた個別最適な学びを充実させるために、主体的に学ぶ力を育て、他者との交流を通して学びが深まるよう内容構成が工夫されている。 ○ 児童が思いや考えを整理し交流する場面において、習得した知識・技能を活用できるよう、付録「学習を広げよう」が設定されている。 ○ カリキュラムマネジメントの観点から、教材は他教科等との関連を図って設定されており、学習や日常生活の場面で活用できるように配慮されている。 ○ 単元末「見通しをもとう」や挿絵、二次元コード等が適切に配置されており、児童の学習効果を高めるように工夫されている。 | | | | | | |
| 4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の発達の段階に応じて、読みやすい表記や表現となるよう配慮されている。 ○ 児童が親しみをもち、想像を膨らませることができるような写真や挿絵が適所に配置されている。また、教材や挿絵に登場する人物に、性別や人種・身体的特徴等に偏りがなく、人権上の配慮がなされている。 ○ 文字の大きさは児童の発達の段階に応じて配慮されている。また、児童が読み取りやすいように書体を工夫している。 ○ 写真や図表が適所に配置されており、全体のレイアウトやバランスも学習の流れやポイントが分かりやすいように工夫されている。 ○ 製本は堅ろうで、原料や製法など環境に負担の少ない用紙、植物油インクを用い、環境への配慮がなされている。 | | | | | | |

| 種 目 | 書 写 | 発行者の 番号・ 略称 | 2 | 教科書 の記号・ 番号 | 書写 1 0 6 2 0 6 3 0 6 4 0 6 5 0 6 6 0 6 | 書 名 | 新編 あたらしい しょしゃ 一 新編 新しい しょしゃ 二 新編 新しい 書写 三 新編 新しい 書写 四 新編 新しい 書写 五 新編 新しい 書写 六 |
|-------------------------------|--|-------------------|----|-------------------|--|--------|--|
| | | | 東書 | | | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されている各学年の指導事項が「書写のかぎ」として各単元に位置付けられている。色分けされた一覧表も学年ごとに掲載されており、学びの系統性が見える。 ○ 年齢や地域を超え文字を使って他者と思いを伝え合うことのよさが示されており、豊かな人間性と社会性の育成に通ずる内容となっている。 ○ 各学年に「書写の学び方」が示されていることと、単元ごとに意図的に整っていない文字を示していることで、児童が課題意識を持って学習できるように配慮されている。 ○ 身に付けたことを他教科での学習や校外学習でどのように生かせばよいかを示されており、場面や目的に応じた文字の書き表し方に児童が自ら気付くように配慮されている。 ○ 掲載されている言葉や文章は各学年の他教科の学習内容と関連しており、出典が全て明示されている。 | | | | | | |
| 2 組織と 配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 書写に関する指導事項を確実に習得できるよう、発達の段階に応じて重点化しながら、単元が組織的、系統的に配列されている。 ○ 1単元1領域を原則とし、指導事項が「書写のかぎ」として焦点化されており、単元のねらいが明確で学習内容にまとまりがある。 ○ 単元が適切に配列されているため、学習内容の確実な定着が期待できる。また、活用方法が具体的に示され、発展的な学習にも配慮がなされている。 ○ 配当時数に沿った分量で、原稿用紙の使い方やポスター制作等、国語科や他教科の学習と関連した内容も配列されており、年間指導計画に適合できるよう配慮されている。 ○ 書き初めの行事紹介や印刷物の字体等が取り上げられ、児童の日常生活に広く適合できるよう配列されている。 | | | | | | |
| 3 学習と 指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 指導事項を焦点化した「書写のかぎ」を軸に課題解決型の学習過程が設定されており、児童が単元のつながりを把握し、見通しを持って学ぶことができるよう工夫されている。また1・2学年に水書用紙が付されており、運筆する習慣の定着が期待できる。 ○ 日常の課題について相手意識を持って解決する様子をイラストで示し、学習したことを対話で言語化する活動が設定されている。 ○ 書写の学習要素を系統的に分類・整理してインデックスに示すことで、児童自身が自らのめあてや系統性を意識しながら学習することができるようになっている。 ○ 「生活に広げよう」「文字といっしょに」が設定され、書写で学んだ知識・技能を他教科や日常の生活に活用できるよう工夫されている。 ○ 全ての単元の導入にデジタルコンテンツが用意され、アニメーションやシュミレーション、運筆動画等が視聴できるよう、二次元コードが提示されている。 | | | | | | |
| 4 表現と 体裁等 に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 第3学年以上の教材には「書写のかぎ」が平易な表現で示され、書写で使用する用語を確認したり、知識・技能の定着を図ったりすることができるよう工夫されている。 ○ 柔らかな色彩の挿絵で動物が要点を簡潔に示す工夫があり、児童が親しみやすく、学習意欲を喚起するものとなっている。 ○ 文字の大きさ、字体ともに適切である。硬筆文字は印刷濃度や色彩を調整してあり、見やすく工夫されている。印刷も鮮明である。 ○ 見開き2ページで構成されている。課題、問い、「書写のかぎ」、手本が統一して配置されているため、理解しやすい。紙面に対する文字や図表の分量も適切である。 ○ 鉛筆で書き込みができるよう、軽量で十分な強度を持った用紙を使用している。また、環境に配慮した再生紙や植物油インクが使用されている。 | | | | | | |

| 種 目 | 書 写 | 発行者の 番号・略称 | 1 7 | 教科書 の記号・ 番号 | 書写 1 0 7 2 0 7 3 0 7 4 0 7 5 0 7 6 0 7 | 書 名 | しょうがく しょしゃ 1ねん 小学 しょしゃ 二年 小学 書写 三年 小学 書写 四年 小学 書写 五年 小学 書写 六年 |
|-----------------------|--|---------------|-----|-------------------|--|--------|--|
| | | | 教出 | | | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示された各学年の内容を受け、各学年の目次にはその学年で扱う点画の種類や文字の組み立て方に関する内容が明記されている。 ○ 各学年の「学習の進め方」には、対話的な学びが位置付けられており、他者との交流の大切さを実感させることに通ずる内容となっている。 ○ 各単元に「めあて」と「ここが大切」が分かりやすく示されており、児童が課題意識を持って学習に取り組むことができるよう配慮されている。 ○ 単元ごとに「生かそう」のコーナーが位置付けられており、自分の文字を見つめ直し、整った文字を書こうとする意欲を持たせることができるよう工夫されている。 ○ 児童が我が国の伝統的な言語文化に親しむことができるように、昔話や俳句、古文が扱われており、その出典は全て明示されている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の学習指導要領の内容を踏まえ、各単元でのねらいが明確で内容のまとまりごとに分かりやすく配列されている。1年間で学習した内容の振り返りも記載されている。 ○ 書写の指導事項が「めあて」として示され、何を学ぶのか明確に位置付けられている。学習過程を段階的に構成しており、内容のまとまりを意識できるよう配慮されている。 ○ 文字の書き方を習得するために、姿勢や筆使い、字形の整え方等の基礎・基本が確実に身に付けられるよう構成されている。 ○ 身に付けた書く技能を、学習活動のどの場面で生かせるかが分かりやすい教材が配列されており、各教科と連携した年間指導計画を作成することに配慮されている。 ○ 年賀状やお礼の手紙など、教材の配列が児童の生活や各地域の実態に広く適合できる内容である。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習ステップをマークで示し、児童自らが学習手順を理解して主体的に学習できるよう工夫されている。また、第1・2学年では水書用紙が収録されており、適切に運筆する能力の向上を図ることができるよう配慮されている。 ○ 「書写の言葉」を使って対話の場面を例示するなど、協働的な学びを支援している。 ○ 「ためし書き」「まとめ書き」を設定して自身の成長に気付かせたり、書き誤りやすい文字を重点的に扱ったりするなど、児童が自ら学習できるよう配慮されている。 ○ 身に付けた書写の力が学校生活や学習活動のどの場面で生かせるかが分かる「レッツ・トライ」のページが設定されており、カリキュラムマネジメントに対応している。 ○ 教科書教材が二次元コード「まなびリンク」と連動しており、全ての毛筆教材について運筆動画を見ることができる。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 硬筆・毛筆ともに学年に応じた適切な言葉や文章を教材に選定している。平易で簡潔な文章表現や合い言葉を用いるなど、発達の段階に配慮がなされている。 ○ 運筆を「とん」「すうっ」等のリズムと身近な動作で表現することで、児童が自ら点画の書き方に親しみ、書写の技能を身に付けることができるように工夫されている。 ○ 手書き文字に近いUDフォントや、識別しやすい配色で、全ての児童に学びやすい配慮がなされている。また、書字のポイントはフォントを変えて赤の太字で示し、伝わりやすく工夫されている。 ○ 見開き2ページを基本とし、特に毛筆教材の1ページ目は手本と単元名のための構成で、課題をじっくり見てから学習に取り組める配置となっている。 ○ 表紙は撥水加工が施され、水や墨汚れに強い堅ろうなつくりとなっている。また、強度があり、軽量の紙を使用している。 | | | | | | |

| 種 目 | 書 写 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 3 8 光村 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 書 写 1 0 4 2 0 4 3 0 4 4 0 4 5 0 4 6 0 4 | 書 名 | しよしゃ 一ねん しよしゃ 二年 書写 三年 書写 四年 書写 五年 書写 六年 |
|---|---|---|---------------|---|--|--------|---|
| 1 内 容 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の指導内容が「めあて」として各単元に位置付けられている。「めあて」は学習指導要領に示されている目標を受けて児童にとって分かりやすい言葉で表記されている。 ○ 場面や相手に応じて手紙や壁新聞、ポスター等を作成する活動が位置付けられており、人との交流の大切さを実感させることに通ずる内容となっている。 ○ 各単元に「学習の進め方」を明示し、身に付けた知識や技能を活用する場面が確保されている。 ○ 指導内容を端的にまとめた「たいせつ」が各単元に明示されており、これまでの学びを振り返ったり深めたりすることができるように配慮されている。 ○ 児童が我が国の伝統的な言語文化に親しむことができるよう、ことわざや古典、書き初めの文化に関する写真資料が掲載されており、その出典は全て明示されている。 | | | | | | |
| 2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の学習指導要領に示されている指導事項を系統的に位置付け、習得と活用を繰り返し、効果的に身に付けられるような配列となっている。 ○ 書写に関する指導事項に合致しており、かつ1教材で一つの目標とし導入・確認・活用という展開で構成されているため、学習のめあてや活用できることが明確になっている。 ○ 文字の整え方等の基礎・基本が確実に身に付けられるように構成されている。また、活用方法も記載しており、発展的な学習に取り組める内容である。 ○ SDGs や防災教育にも関連した教科等横断的な学習内容が配列されており、学習活動の必要性を高め、各学校の年間指導計画に適合できるよう配慮されている。 ○ 日常生活や地域の書き初めに関わる行事等から、幅広く取り上げた豊富な教材で、児童の生活や各地域の実態に適合できる配列となっている。 | | | | | | |
| 3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に「学習の進め方」を掲載し、学習のポイントを「たいせつ」マークで示すことにより、児童が課題解決を目指して主体的に学ぶことができるように配慮されている。 ○ 1・2学年の水書学習や「書写体操」等の体感を通じた活動や、学びの成果を児童同士で確かめる活動を設定し、体験や対話を通して学習を深められるように工夫されている。 ○ 豊富な写真や「スタートブック」「書写ブック」により、児童が自らの身に付けた力を自覚しながら段階的に学習を進めることができるよう工夫されている。 ○ 「書写広げたい」のページが設定されており、はがき、新聞やポスター等、他教科や総合的な学習の時間と関連させて学習できるよう配慮されている。 ○ 「書写体操」や「整理体操」、基本的な筆使いを確かめる動画等、二次元コードにより様々な資料が見られるようになっている。 | | | | | | |
| 4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の発達の段階に応じて、平易な言葉や簡潔な文章表現を用いることで、児童が理解しやすいよう配慮されている。 ○ 全学年共通で、親しみやすいキャラクターを用いて要点を示しており、児童の学習意欲を喚起するとともに視覚的に理解できるよう工夫されている。 ○ 児童の発達の段階や読みやすさを考慮した字詰め・行詰めで、読みやすくなるよう配慮されている。また、誰もが識別できる配色を採用している。 ○ 見開き2ページを基本とし、簡潔で分かりやすく構成されている。課題、問い、ねらい、手本の配置が統一され、理解しやすい。紙面に対する図表の分量も適切である。 ○ 表紙は撥水加工が施され、強度があり鉛筆で書きやすい用紙を使用している。また、再生紙や植物インクの使用等、環境にも配慮されている。 | | | | | | |

| 種 目 | 社 会 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 2 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 社 会 3 0 5 4 0 5 5 0 5 5 0 6 6 0 5 6 0 6 | 書 名 | 新編 新しい社会 3 新編 新しい社会 4 新編 新しい社会 5 上 新編 新しい社会 5 下 新編 新しい社会 6 政治・国際編 新編 新しい社会 6 歴史編 |
|---|--|---|----|---|--|------------|---|
| | | | 東書 | | | | |
| 1 内 容 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、グローバル化する国際社会との関わりを意識し課題を追究したり解決したりする活動が充実するよう学習問題を設ける工夫をしている。 ○ 各見開きには、「まなびのポイント」として表現活動等の学習活動を例示し、児童の主体的・対話的で深い学びの実現を促すよう工夫されている。 ○ 各単元に学習段階「いかす」を設置し、振り返りの場面を設け、学びを社会生活に生かそうとする態度を各学年の発達段階に応じて涵養できるよう工夫している。 ○ 「空間」「時間」「相互関係」の三つの視点と、「方法（考え方）」の囲みを示し、見方・考え方を働かせて学習を進められるよう配慮されている。 ○ 教育のICT化への対応やSDGsへの対応等、今日的課題に関わる話題が偏りなく取り上げられており、資料の出所、出典も明示されている。 | | | | | | |
| 2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 第3・4学年では地域社会の事象について、第5学年では我が国の産業について、第6学年では政治・歴史・国際理解について、単元を組織的、系統的に配列している。 ○ 単元の「めあて」、小単元の「学習問題」、本時の「めあて」が構造的に示されており、1単位時間の内容が見開きで示され学習段階が分かるよう配慮されている。 ○ 学習のまとめで活用できる重要なキーワードを「ことば」として提示し、基礎的・基本的な内容が定着できるように工夫している。 ○ 選択単元の学習は、目次に明示されており、学校の実態に合わせて年間指導計画に適合できるようになっている。 ○ 「地域の安全を守る働き」の学習では、社会的な事柄に参画する意識が高められるよう標語を作る場面を掲載するなど、今日的な課題を積極的に取り上げている。 | | | | | | |
| 3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の技能や方法を示した「まなび方コーナー」を随所に掲載し、学習場面に応じた学び方を具体的に示し、系統的に技能を身に付けられるよう工夫されている。 ○ 実社会に参画する人の想いや願いの話が随所に掲載されており、多様な人の生き方に触れることで、社会参画の基礎を培うことができるよう工夫されている。 ○ 二次元コードを活用し動画を見て理解を深めたり、クイズに挑戦することで達成感を得たりできるなど、児童の興味・関心に応じて学びが広がるよう工夫されている。 ○ 他教科の内容と関わる箇所は、「教科関連マーク」と学習内容を関連するページの欄外に示し、関連を図ることができるよう配慮されている。 ○ 巻頭には学習の進め方、巻末には既習内容を振り返る手引きが配置され、見通しが持てるよう配慮されている。また、活用できる図表及び写真等を多く掲載している。 | | | | | | |
| 4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 当該学年以上の配当漢字には振り仮名が付けられ、一文を短く簡潔な文章表現にすることで、学習内容を確実に理解できるよう配慮がなされている。 ○ 児童のキャラクターやアニメのキャラクターに学習をナビゲートさせ、児童が親しみを感じながら学習を進められるよう工夫されている。 ○ 活字は、可読性の高い専用教科書体、見出しは視覚に訴えるゴシック体、その他の箇所はUDフォントが使用され、児童にとって読みやすくなるよう配慮されている。 ○ 本文と資料を区別できるようにレイアウトし、図表等は、色調の違いだけでなく、模様や形等でも判別できるようにすることで使いやすさに配慮している。 ○ 製本は、視覚的効果が高い幅広の判型を使用し、堅ろうな針金綴じである。持ち運びに耐えるよう、表紙は汚れにくく、防水効果、PP加工が施されている。 | | | | | | |

| 種 目 | 社 会 | 発行者の番号・略称 | 1 7 | 教科書の記号・番号 | 社会 3 0 7 4 0 7 5 0 7 6 0 7 | 書 名 | 小学社会 3 小学社会 4 小学社会 5 小学社会 6 |
|-----------------------|--|-----------|-----|-----------|--|--------|--------------------------------------|
| | | | 教出 | | | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「見方や考え方」を各学年の巻頭に示すとともに、社会的な見方・考え方を働かせた学習が促されるように資料の内容やその掲示の仕方が工夫されている。 ○ 「学習の進め方」を各学年の巻頭に示すことで、学び方や調べ学習、問題解決的な学習が展開できるよう工夫されている。 ○ 発達の段階に応じた資料の提示に加え、児童の生活経験と結び付きの深い身近な事例を示しており、学習意欲を高めるよう工夫されている。 ○ 児童の興味・関心に応じて活用することができる教材や資料が適宜配置され、学習の充実と発展を図ることができるよう配慮されている。 ○ 対象を捉えやすいイラストや大きく鮮明な写真等が、資料の特性や目的に配慮しながら配置されており、出所、出典も明示されている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の学習全体を通して、公民としての資質・能力が培われるように配慮されている。さらに、生活科や中学校との接続を意識できるページが配置されている。 ○ 単位時間ごとに「この時間の問い」と「次につなげよう」を明示することで、小単元を通して一貫性のある問題解決的な学習が展開されるよう工夫されている。 ○ 各単元に「まとめる」、「つなげる」コーナーを適宜配置し、学習内容の定着を確認したり、発展的な学習につなげたりできるよう工夫されている。 ○ 内容や分量は適切で、地域や学校の実態に応じて選択できる教材が掲載されており、年間指導計画にも適合するよう工夫されている。 ○ 地域や学校の実態に応じて、実際に行うことのできる見学や聞き取り等の体験学習や、それに基づく表現活動の例が具体的に示されている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の展開を見通すモデル図や調べ方等について解説した「学びのてびき」を掲載し、問題解決的な学習に見通しを持つことができるように工夫されている。 ○ 児童同士の対話的な学習や、様々な人々から話を聞き取る学習等の教材を位置付けることで、多角的に理解したり考えを深めたりできるよう工夫されている。 ○ 「もっと知りたい」を掲載し、児童の意欲や関心に応じて、発展的に学習できる教材や資料を掲載することで、児童の個性や能力に対応できるように配慮されている。 ○ 各学年の巻頭に「他の教科とのかかわり」を掲載することで、他教科との関連を児童に意識付けるよう工夫されている。 ○ 挿絵や写真、図表等の資料が効果的に配置されている。また、「まなびリンク」の情報が閲覧できる二次元コード、URLが各学年の目次に掲載されている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 当該学年以上の配当漢字や固有名詞等には振り仮名が付けられており、キーワードとなる語句の解説をすることで、内容を理解しやすくなるよう工夫されている。 ○ 同年代の児童のキャラクターを登場させることで、児童が親しみを持ちながら学習を進めることができるよう工夫されている。 ○ カラーユニバーサルデザインに基づいて配色したり、UDフォントを使用したりすることで、見やすいものになるよう配慮されている。 ○ 主となる資料を大きく配置し、レイアウトを定型化することで、児童の視認性を高めるよう工夫されている。 ○ 製本は堅ろうで、装丁にも汚れにくい加工が施されている。また、再生紙を用いて植物油インキを使用して印刷するなど、環境への配慮がある。 | | | | | | |

| 種 目 | 社 会 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 1 1 6 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 社 会 3 0 8 4 0 8 5 0 8 6 0 8 | 書 名 | 小学社会 3年 小学社会 4年 小学社会 5年 小学社会 6年 |
|---|---|---|-------|---|--|------------|--|
| | | | 日 文 | | | | |
| 1 内 容 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の目標や内容、内容の取扱い等を踏まえ、社会的な見方・考え方を働かせながら思考力や判断力を育成することができるよう工夫されている。 ○ 「学び方・調べ方コーナー」の中で、情報のまとめ方や話し合いの仕方が例示されており、表現活動や言語活動に関わる学習の充実が図れるよう工夫されている。 ○ 作業的な活動や体験的な活動は児童の発達の段階を踏まえて位置付けられている。また、調べたことのまとめ方の例が示されるなど、学習意欲が高まるよう工夫されている。 ○ 児童にとって身近に感じられる地域の特色を生かした地域教材が取り上げられており、学習の充実と発展を図ることができるよう工夫されている。 ○ 学習教材として取り上げられている地域に偏りは見られず、内容も広く受け入れられるものが掲載されている。また、資料の出所、出典が明示されている。 | | | | | | |
| 2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末ページには、学んできたことを振り返る内容や次学年に向けての見通しを持つ内容が掲載されており、次学年の学習にスムーズに移行できる配列となっている。 ○ 小单元ごとに目標に沿って問題解決的な学習過程が組まれている。また、学習内容について必要な情報が見開きでコンパクトにまとめられている。 ○ 「未来につなげる～わたしたちのSDGs～」というコーナーが適宜設置され、基礎的な内容を振り返ったり、発展的な学習を進めたりできるよう配慮されている。 ○ 小单元の中で、十分な調べ学習や話し合い活動ができるような分量や区分となっており、各学校の年間指導計画に広く適合できるよう配慮されている。 ○ 災害、産業、情報ネットワークなどでは選択教材が設定されており、児童の生活や各地域の実態に広く適合させることができるよう配慮されている。 | | | | | | |
| 3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 資料の見方や調べ方、情報の読み取り方、集めた情報の表現の仕方が適宜掲載され、技能を身に付けたりや表現力を育成したりできるよう配慮されている。 ○ 児童が興味を持ったことを調べることができるよう、「インタビューのしかた」などが記載されており、主体的・対話的で深い学びを実践するための工夫がされている。 ○ 「話し合いのしかた」「深め合いの進め方」を示すことで、友達との意見交流がスムーズにできるように工夫するなど、児童の多様な個性や能力に広く対応している。 ○ 「学び方・調べ方コーナー」にインタビューの仕方や公共の場での注意事項が具体的に示されているなど、総合的な学習の時間や道徳等との関連に配慮されている。 ○ 図表や写真等の資料は児童の発達の段階に応じた表現で掲載されている。また、資料の近くに二次元コードがあり、必要に応じてアクセスできるようになっている。 | | | | | | |
| 4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の発達の段階を踏まえ、適切な用語や語句が使用されている。また、当該学年以上で学習する漢字には振り仮名が付けられており、読みやすいよう配慮されている。 ○ 6名の児童のキャラクターが登場し、感じた疑問や気付いたことが掲載されているなど、児童が親しみを感じながら学習を進めることができるよう工夫されている。 ○ 活字はUDフォントが使われている。グラフには要素ごとに黒色で境界線が施されるなど、数値が確実に読み取れるよう工夫されている。 ○ 図表等は見開きページの上側、左側、右側にまとめられており、必要に応じて説明の文章が添えられるなど、見やすくなるよう工夫されている。 ○ 製本は堅ろうなあじろ綴じとなっており、教科書の中央部分でも大きく開くようになっている。また、植物油インキが使用され、環境にも配慮されている。 | | | | | | |

| 種 目 | 地 図 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 2 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 地 図 3 0 3 | 書 名 | 新 編 新 し い 地 図 帳 |
|---|--|---|---|---|-----------------------|--------|--------------------------------------|
| 1 内 容 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示された目標に則り、我が国の国土の地理的環境や社会生活への理解、世界の諸地域への理解等を深められる内容になっている。 ○ 主体的・対話的で深い学びを実現できるように、問いと作業のコーナーが設定され、楽しみながら地図の学習ができるよう工夫されている。 ○ 初めて地図を使用する児童の発達の段階を踏まえ、地図のきまりや地図帳の使い方を示した導入のページが設定されており、学習意欲を高めるよう工夫されている。 ○ 中学校の地図帳との接続を見据え、小学校段階での学習の充実と発展を図ることができるように内容を精選し、地図に親しみが持てるよう工夫されている。 ○ 統計資料や写真は最新のもが使用され、出所、出典が明示されている。写真やイラストの資料は、地域に偏りなく配置されている。 | | | | | | |
| 2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本列島とその周りを見渡す地図から始まり、日本の地方図と都市圏図、世界全図、世界の州ごとの地図、資料地図、統計表、索引と、系統的に配列されている。 ○ 広域図や拡大図、様々な視点に基づいた資料地図や統計表等が配置されており、各学年の学習のねらいに合わせて地図帳を活用できるよう工夫されている。 ○ 基本的な地図の読み方を習得させる内容に工夫が見られる。また、日本の自然災害について要因や対策を考察する等、発展的な学習を進めるための配慮がなされている。 ○ 日本の自然、産業、貿易、伝統文化等の資料地図や統計表が豊富に配置され、各学校の年間指導計画に広く適合できるよう配慮されている。 ○ 地方ごとの拡大地図が配列され、比較しながら学習しやすいよう配慮されている。また、東北地方は折込になっており、交通網等が捉えやすいよう工夫されている。 | | | | | | |
| 3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 地図の読み方や地球儀の活用の仕方について、写真等を用いて解説している。また、資料地図や統計表、索引に十分なページをとり、問題解決的な学習に配慮している。 ○ 冒頭の世界地図で、世界や日本の様々な事物を紹介することにより、児童に興味・関心を持たせ、主体的・対話的で深い学びを実現するための工夫がなされている。 ○ 資料に関連した写真やイラストを豊富に配置し、イメージを膨らませながら学習に取り組めるよう工夫されている。 ○ 国語や音楽、道徳等の学習への対応のほか、国際理解教育や食育、環境教育等で活用できる内容を取り入れ、他教科や総合的な学習の時間等との関連に配慮している。 ○ 地図帳の使い方、挿絵、図表、写真等は各所に適切に配置されている。また、二次元コードも適所に配置され、学習に役立つウェブページの活用も可能である。 | | | | | | |
| 4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 第3学年配当以上の漢字には振り仮名を付け、読みの抵抗を少なくしている。また、説明文などは文節改行して、読みやすくなるよう配慮されている。 ○ 多彩なキャラクターが随所に登場し、地図活用の手掛かりを児童の言葉で提示することで、親しみを持って学習に取り組めるよう配慮されている。 ○ 文字はゴシック系UDフォントを使用し、地名等を読み取りやすくしている。彩色や印刷についても、ユニバーサルデザインの観点から配慮されている。 ○ 地形、気候、歴史、伝統文化等の多様な主題図をページ単位で分けし、見やすいレイアウトに配慮している。 ○ 製本は丈夫な糸がかりで綴じ、中央部は十分に開いて紙面が見やすくなるよう配慮している。また、環境に配慮した用紙・植物油インキを使用している。 | | | | | | |

| 種 目 | 地 図 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 4 6 帝 国 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 地 図 3 0 4 | 書 名 | 楽しく学ぶ 小学生の地図帳 3・4・5・6年 |
|---|--|---|-------------------|---|-----------------|--------|---------------------------|
| 1 内 容 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の目標に示される社会的な見方・考え方を捉え、我が国の地理的環境やグローバル化する国際社会を見据えた内容の構成になるよう工夫されている。 ○ 主体的・対話的で深い学びを児童が実現できるように、地図帳の使い方を丁寧に解説した上で、各種の資料を積極的に活用することを促す工夫がなされている。 ○ 第3学年からの使用に対応するために、地図の基本について段階的に詳しく説明を行い、社会科の初期段階における学習の意欲付けを図る構成となっている。 ○ 日本の産業や歴史、海外との結び付きなどを地図の中に適宜配置し、各学年で学習する内容と関連を図り、発展的な学習にも対応するための配慮が見られる。 ○ 統計資料や写真、イラストなどには、出所、出典が明示されている。特に、統計資料や写真は最新のものが使用されている。 | | | | | | |
| 2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 簡略化された日本地図から詳細な日本地図、その後に世界地図へと、内容が組織的、系統的に配列され、各学年が段階的に学習できるよう工夫されている。 ○ 市区町村や都道府県、日本の産業や歴史との関連を踏まえた構成で地図を取り入れており、教科の目標を踏まえた内容のまとまりに配慮が見られる。 ○ 親しみのあるイラストを随所に大きめに配置することで学習意欲を高め、基礎的・基本的な内容が確実に理解できるよう工夫されている。 ○ 地図や資料等が豊富に示されており、相互に関連付けて配置することで、各学年の年間指導計画に広く適合できるよう配慮されている。 ○ 日本地図は地方ごとにまとめられており、広域な東北地方は折込となっている。宮城県と東北地方との交通網の関係や位置の関係が捉えやすいよう工夫されている。 | | | | | | |
| 3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 3年生の学習で「地図のきほん」、4年生以降には「地図帳の使い方」として地図記号、方位、縮尺、土地利用の読み方等、基本的技能の習得を図る配慮がされている。 ○ 祭りや伝統行事、交通機関、観光地などのイラストを各所に配置することで、児童が経験に基づいて主体的・対話的に思考を深められるよう工夫されている。 ○ 絵記号やイラストを多数配置して個性や能力に広く対応するとともに、SDGsに関する資料を示すことで、多面的で発展的な学びに対応できるよう工夫されている。 ○ 世界の国旗や挨拶などで外国語活動、防災への取組として総合的な学習の時間等と関連を図ることが可能であり、他分野との関連にも配慮した内容となっている。 ○ 図表や写真、挿絵等は適切に配置されている。また、二次元コードから児童が必要に応じて情報を取り出して活用することが可能につくりとなっている。 | | | | | | |
| 4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 都道府県や市町村名等を正しく読めるように、すべての地名の漢字に振り仮名を付している。また、土地の高低や利用について色分けを工夫し、立体的に示されている。 ○ 学習段階に対応できる「地図マスターへの道」を多くのページに設定し、児童が自学自習しながら地図の活用に親しみを持ち続けられよう工夫されている。 ○ 活字はUDフォントを採用し、地図における情報量も精選されているなど、見やすいものになっている。色覚特性を考慮した配色にも工夫が見られる。 ○ 図表やグラフ、写真は鮮明であり効果的に配置されている。また、二次元コードは地図の見出しに付しており、児童に扱いやすい工夫がされている。 ○ 製本は体裁がよく堅ろうである。耐久性に優れた再生紙や植物油インキを使用しており、環境に優しい工夫が施されている。 | | | | | | |

| 種 目 | 算 数 | 発行者の 番号・ 略称 | 2 | 教科書 の記号・ 番号 | 算数 1 1 2 1 1 3 2 1 2 2 1 3 3 1 2 3 1 3 4 1 2 4 1 3 5 1 2 5 1 3 6 1 2 | 書 名 | 新編 あたらしい さんすう1⑩ はじめよう!さんすう 新編 あたらしい さんすう1⑩ みつけよう!さんすう 新編 新しい算数2上 2下 考えるって おもしろい! 新しい算数3上 3下 考えたことがつながるね! 新しい算数4上 4下 考えたことがつながるね! 新しい算数5上 5下 考えたことがつながるね! 新しい算数6 数学ヘジャンプ |
|-------------------------------|---|-------------------|----|-------------------|---|--------|---|
| | | | 東書 | | | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 数学的活動を基にした問題解決の過程を可視化し、基礎的・基本的な概念や性質の理解や技能の習熟を図るとともに、既習事項の活用や新たな課題を見いだすことを通して、思考力、判断力、表現力等を伸ばしていけるよう配慮されている。 ○ 数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動を重視し、吹き出しや補助発問を設けることで、基礎的・基本的な学習内容の定着を図れるよう配慮されている。 ○ 発展的に考える「それなら」や既習事項と統合して考える「同じように考えると」等、数学的活動の楽しさや数学のよさを感じられるよう工夫されている。 ○ つまづきやすい内容を問題場面に反映させるとともに、単元の学習進度に応じて記述内容や量に変化をつけ、児童の主體的な学びにつながる工夫がなされている。 ○ 算数科の目標に即した内容、資料を用い、出所、出典が明示されている。 | | | | | | |
| 2 組織と 配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ スパイラルに学習することを重視した配列となっており、特に習熟に時間を要する内容等については、単元を分けて段階的に扱うなどの配慮がなされている。 ○ 目次は、学習の系統性が分かるように工夫され、単元内の学習についてもねらいと内容が分かりやすく示されている。 ○ 学習内容の定着を意図した練習・補充問題や発展・探究を意図した「おもしろ問題にチャレンジ」「算数で読み解こう」等、学習が充実するよう配慮されている。 ○ 各学年3 2週で学習内容を終わられるよう分量が吟味され、理解や定着に時間が掛かる内容については、十分なページ数と時間数が確保できるよう配慮されている。 ○ 児童の発達段階や前後の学年の内容を踏まえた上で、単元相互の関連や領域とのバランス、学習効果や指導時期を考慮して配列を工夫している。 | | | | | | |
| 3 学習と 指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業場面を想定して紙面が構成され、数学的活動を通して知識及び技能の確実な習得と思考力、判断力、表現力等の育成が図られるよう配慮されている。 ○ 「学びのとびら」で問題解決の過程を可視化し、主体的・対話的で深い学びをイメージしやすくするとともに、単元導入に課題を見いだす活動や単元末で総括する活動を示し、児童が対話しながら学習を進められるよう配慮されている。 ○ 練習問題は二次元コードから正誤判定、ヒント、解説を参照でき、補充問題は2段階のレベルから選択できるなど、児童の自己の学びを調整する配慮がなされている。 ○ 生活科の学習に関わる場面や道徳科との関連で他者の考えを検討する場面等、他教科との関連や幼児期の生活経験に配慮されている。 ○ 学習内容に応じた操作、解説動画、練習問題のデジタルコンテンツは、児童が活用できるように紙面下部に配置され、児童がすぐに活用できるように配慮されている。 | | | | | | |
| 4 表現と 体裁等 に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 解説や説明は長文や複文を避け、学年に応じた簡潔で平易な表現を意識して表現され、文節で改行することで文章を識別しやすくする配慮がなされている。 ○ 実物の写真や実際の生活場面に即した場面のイラストが多く取り入れられ、児童が算数と実生活との関連を意識し、学習意欲を高められるよう工夫されている。 ○ 視認性を高めたUDフォント、使用する色数を絞った淡い配色、シンプルな記号等、児童が見やすく、学習に集中しやすいよう配慮されている。 ○ 登場するキャラクターの性別、言葉遣い、服の色への配慮、活動場面における男女比率や性別に応じた役割が生じない等の人権上の配慮がなされている。 ○ 表紙はフィルムで加工され汚損しにくく製本も堅ろうである。また、紙面には環境への配慮から軽量で丈夫な再生紙、植物油インキを使用している。 | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|---|---|-----|---|---|--------|--|
| 種 目 | 算 数 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 4 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 算数 1 1 4 1 1 5 2 1 4 3 1 4 4 1 4 5 1 4 6 1 4 | 書 名 | 新版 たのしいさんすう 1ねん① 新版 たのしいさんすう 1ねん② 新版 たのしい算数 2年 新版 たのしい算数 3年 新版 たのしい算数 4年 新版 たのしい算数 5年 新版 たのしい算数 6年 |
| | | | 大日本 | | | | |
| 1 内 容 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 数学的な見方・考え方を「ひらめきアイテム」にまとめ、単元末の「見方・考え方をたしかめよう」の問題で学習内容が定着するよう工夫している。 ○ 単元末の「しっかりチェック」で復習したり、デジタルコンテンツで十分な量の練習問題に取り組めるようにしたりするなど、基礎的・基本的な学習内容が身に付くよう工夫されている。 ○ 「おうちで算数」や「ふくろう先生のなるほど算数教室」では、学習内容を日常生活場面に生かしたり、有用性を実感したりできるように工夫されている。 ○ 学習内容の習熟を図るための「プラス・ワン」や、中学校での学習につなげるための発展的な内容を扱うことで、学習の系統性を意識し、意欲が高まるよう工夫されている。 ○ 児童の生活に即した資料や写真を使用し、資料の出所、出典が明示されている。 | | | | | | |
| 2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次に、既習事項と本単元、次年度の単元名が矢印で横並びに示され、つながりが分かるよう配慮されており、見通しを持って学習ができるように工夫されている。 ○ 1単位時間ごとの目当てを明示していることに加え、児童が見いだすことを赤枠、教師が教えることを青枠として区別し、本時の学習内容が分かるようまとめられている。 ○ 既習事項と関連付けて、二次元コードから学習できるとともに、資料や会話文から解く「読み取る力をのばそう」の問題を掲載し、思考力を育む工夫がなされている。 ○ 砂時計の印で1単位時間の学習の目安を示して見通しを持たせるとともに、学年に応じた予備時数を設け、年間指導計画に適合できるよう配慮している。 ○ 生活科に合わせて育てたい野菜を表に整理する学習や社会科の町探検に関連した時刻と時間の学習を取り入れるなど、児童の生活に合う教材が配列されている。 | | | | | | |
| 3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「じっくり深く学び合おう！」を設け、自分の考えを図や式、文章等で表現しながら他者の考えに触れ、数学的な見方・考え方を働かせることができるよう配慮されている。 ○ 身近な場面や自発的に問いが生まれる場面などを導入に取り入れ、主体的・対話的で深い学びの実現につながるよう工夫されている。 ○ 習熟度別に問題を選択したり、「チャレンジ」の二次元コードを用いて発展的な問題に挑戦したりするなど、自己の学びが調整できるよう配慮されている。 ○ 社会科や外国語科等の他教科に関連した内容が示されている。また、全学年においてプログラミング的思考を伸ばすとともに、算数の理解が深まるよう工夫されている。 ○ ページ番号の横に二次元コードを設けて活用しやすくするとともに、挿絵だけでなく、実物の写真を掲載し、日常生活と算数の結び付きが実感できる工夫がなされている。 | | | | | | |
| 4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 表現が明確で、問題の条件と問いの部分を段落で分けるなどの工夫がなされているとともに、適宜振り仮名を付け、児童が確実に理解できるよう配慮されている。 ○ 児童の生活場面や親しみやすいイラストを用いたり、カラーユニバーサルデザインを基にした配色をしたりするなど、児童が学習の意欲を高められるよう工夫されている。 ○ 1ページ全体を使って導入場面を示して明確に問題場面をつかめるよう工夫されており、UDフォントと適切な大きさの文字を使用し、読みやすさにも配慮されている。 ○ 発達の段階に応じたデザインやキャラクターを使用したり、図や表をページの左側に配置して書き込みやすくしたりするなど、児童が学習しやすくなるよう工夫されている。 ○ 自然保護のため環境に配慮した用紙を使用している。軽量ながらも強度があり、長期間使用できるよう工夫されている。 | | | | | | |

| 種 目 | 算 数 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 1 1 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 算 数 | | 書 名 | み ん な と ま な ぶ し ょう が こう さん す う 1 ね ん 上 1 ね ん 下 み ん な と 学 ぶ 小 学 校 算 数 2 年 上 2 年 下 み ん な と 学 ぶ 小 学 校 算 数 3 年 上 3 年 下 み ん な と 学 ぶ 小 学 校 算 数 4 年 上 4 年 下 み ん な と 学 ぶ 小 学 校 算 数 5 年 上 5 年 下 み ん な と 学 ぶ 小 学 校 算 数 6 年 み ん な と 学 ぶ 小 学 校 算 数 6 年 中 学 校 へ の か け 橋 |
|---|-----|---|-----|---|--------|-------|--------|---|
| | | 学 図 | | | 1 1 6 | 1 1 7 | | |
| 1 内 容 に 関 す る こ と | | | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 生活場面の中にある課題に気付かせ、様々なデータ等に触れさせることで、児童に日常の事象を数学的な見方・考え方で捉えさせるための工夫がなされている。 ○ 前学年の学習内容（学びの地図）を記載し、領域間の指導の関連を明示している。また、対話的な解決場面や多様な思考に触れることを意識した構成となっている。 ○ 他教科と関連させながら、発達の段階に応じて遊びや日常生活の場面から問題意識を持たせている。また、6年別冊では既習事項が数学で生かされることを示している。 ○ 内容は易から難への段階を細かく展開しながら、児童の意識面に配慮した配列となっている。また、「できるようになったこと」では、習熟を図る配慮がなされている。 ○ 地域性に配慮した題材を使用することで、児童が興味や関心を持てる内容であり、巻末に資料の出所、出典が明示されている。 |
| 2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と | | | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元を通して、児童が課題や数学的な見方・考え方を見付けることで、学びの連続性と普段の生活や社会への広がりを実感できる配列の配慮がなされている。 ○ 目当てやまとめを児童の言葉で示し、1単位時間の目標を簡潔に表している。また、終末段階で次時につながる疑問を示すなど、系統的・発展的な構成となっている。 ○ 1単位時間ごとに二次元コードがあり、基礎的・基本的な学習内容の定着が図られている。また、「考え方モンスター」により、多面的に学習できる工夫がなされている。 ○ 内容が精選されていて、学習の充実が期待できるとともに、各学年の標準時数に対して学年に応じた予備時数が設定してあることで、年間指導計画に広く適合できる。 ○ 日本各地の行事や児童の日常場面が適宜問題として扱われることで、児童の生活における事象との関連が図られ、意欲を持って学習に向かえるよう工夫されている。 |
| 3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と | | | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 日常の事象を数理的に捉える中で、基礎的・基本的な概念・原理の理解、考えたり活用したりする力の育成、新しい課題に取り組む意欲が高まるよう工夫されている。 ○ 「?を発見」「めあて」では、児童が主体的に学習を進めるとともに、対話的な場面をイラストで表しながら、「もっと算数」で学びを深める工夫がなされている。 ○ 「ほじゅう問題」「ふかめよう」で個々の習熟度に対応するとともに、「できるようになったこと」で自己評価に対応した取扱いができるよう配慮されている。 ○ 様々な教科・領域、キャリア教育・情報教育との関連を図るなど、今日的な教育課題と算数との関わりを持たせる工夫がなされている。 ○ 特徴である横長の紙幅を生かし、児童の関心を高めることや理解を助けることなど、目的に応じた写真や図表、二次元コード等が適切に配置されている。 |
| 4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と | | | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 全体的に文字を大きく示したり、重要語句は太字にしたり色を変えたりするなど、発達の段階に応じた表記の工夫がなされている。 ○ 登場する児童を固定したり、数学的な考え方をキャラクター化したりすることで、児童が親しみや見通しを持ち、意欲的に学習に取り組む配慮がなされている。 ○ UDフォントの採用や文節での改行により、児童が読みやすいように配慮されている。また、カラーバリアフリーのデザインのため、見やすく区別しやすい体裁である。 ○ 教科書をA B版にしたり空白部分を増やしたりすることで紙面が整理され、児童の目に掛かる負担を軽減するための配慮がなされている。 ○ 再生紙の使用や植物油インキの使用など、環境やアレルギーに配慮されている。また、表紙は汚れや破損に強い仕様であり、耐久性の面で配慮がある。 |

| 種 目 | 算 数 | 発行者の 番号・ 略称 | 1 7 | 教科書 の記号・ 番号 | 算数 | | 書 名 | しょうがくさんすう1 小学算数2上 2下 小学算数3上 3下 小学算数4上 4下 小学算数5 小学算数6 |
|-------------------------------|-----|-------------------|-----|-------------------|-------|-------|--------|--|
| | | | 教出 | | 1 1 8 | 2 1 9 | | |
| 1 内容に 関すること | | | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年を通じて「はてな?」「なるほど!」「だったら!？」を学習の基本展開として学び方を設定し、数学的活動が展開されるよう配慮されている。また、目的意識を持って数学的活動に取り組めるよう教材や問題提示が工夫されている。 ○ 1 単位時間の学習や単元末、家庭学習の各段階で、習熟を図るための練習問題が豊富に設けられ、基礎的・基本的な学習内容が確実に定着するよう工夫されている。 ○ 日常の学校生活から身の回りの様々な場面、さらには社会全体へと視野を広げた事象を通して、算数の楽しさや活用するよさを実感できるよう工夫されている。 ○ 学年間のつながりを踏まえた内容構成になっており、「算数のミカタ」で前学年までの数学的な見方・考え方を繰り返し参照できるよう工夫されている。 ○ 日常的な事象を算数に結び付けた内容になっている。資料にも偏りがなく、出所、出典も明示されている。 |
| 2 組織と 配列に 関すること | | | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元導入で既習事項との関連を図りながら学習内容を広げ、巻末の「学びのマップ」では既習事項の一覧を掲載して関連する内容を適宜確認できるよう配慮されている。 ○ 単元導入時に身近な題材から算数の問題を発見させるなど、単元のまとまりで目的意識を持って学習が進められるよう工夫されている。 ○ 家庭学習や習熟度に応じた学習に使える練習問題「ステップアップ算数」を設け、基礎的・基本的な内容の定着や発展的な学習を進めるための配慮がなされている。 ○ 標準時数に対して学年に応じた予備時数を設けており、無理なく習得することができるように工夫されている。 ○ 学校生活を円滑に始めたり生活経験をきっかけに学習を始めたりできるように配列が工夫されている。 |
| 3 学習と 指導に 関すること | | | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元末の「4コマ漫画」で学んだことのよさを実感したり数学的な見方・考え方を楽しく振り返ったりすることができるよう工夫されている。 ○ 児童が能動的に関われる教材を取り上げ、数学的活動の過程を「はてな?⇒なるほど!⇒だったら!？」という問いの連続性で構成し、主体的・対話的で深い学びが実現されるよう工夫されている。 ○ 巻末の練習問題「ステップアップ算数」は、児童の習熟度に応じて問題量や難易度を調整できるよう工夫されている。 ○ 防災教育、環境保全、SDGs、情報活用能力の育成等の現代的な諸問題を取り上げ、他教科や総合的な学習の時間との関連を図ることができるよう配慮されている。 ○ 児童が自ら学習の振り返りと分からない箇所の確認ができるように、学習の手引きや図表、二次元コード等が配置されている。 |
| 4 表現と 体裁等 に 関すること | | | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学年に応じた簡潔な文章表現であり、固定的なイメージを持たせないように多様性や人権について配慮されている。 ○ 単元の導入で、児童に興味・関心を持たせる題材を取り入れ、学習意欲を高めるよう工夫されている。 ○ 発達の段階に応じた文字サイズや読みやすい改行、余白を生かしたレイアウト等、落ち着いて学べる紙面づくりに配慮されている。 ○ 図表やイラスト等は、児童の発達の段階を踏まえた大きさや配置がなされている。 ○ 製本は堅ろうで、環境やアレルギー等に配慮し、再生紙と植物性インキを使用している。紙は軽量で児童の身体的負担に配慮され、学年によっては分冊されている。 |

| 種 目 | 算 数 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 6 1 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 算 数 | | 書 名 | わくわく さんすう1 すたあと ぶっく わくわく さんすう1 わくわく 算数2上 2下 わくわく 算数3上 3下 わくわく 算数4上 4下 わくわく 算数5 わくわく 算数6 |
|---|---|---|-----|---|---|--|--------|---|
| | | 啓林館 | | | 1 2 0 1 2 1 2 2 0 2 2 1 3 2 0 3 2 1 4 2 0 4 2 1 5 2 0 6 2 0 | | | |
| 1 内 容 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 2学年以上で「算数で使いたい考えの進め方」を掲載し、各単元で「見方・考え方マーカー」による強調を行うことで、児童が数学的な見方・考え方を働かせることができるよう配慮されている。 ○ 2学年以上で「算数の学習の進め方」を設定し、児童が自ら課題を見付け、その課題について協働的に解決する中で学び合ったり高め合ったりできるよう構成されている。 ○ 数学的活動をベースに学習展開が進むよう構成し、児童が興味を持ち、学習意欲を高められるよう工夫されている。 ○ 活用単元や「学びを生かそう」を設定し、児童が学んだことを使って生活や学習に生かそうとしたり、算数の有用性を実感したりできるよう工夫されている。 ○ 児童の身近な教材や今日的な社会課題が幅広く取り上げられており、教材として用いている統計資料の最新の出所、出典が明示されている。 | | | | | | | |
| 2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次と巻末の「学びをつなげよう」に単元の内容に関連する既習事項を示したり、類似する内容を複数の単元に分けて習熟の時間を確保したりすることで、学習の効果が上がるよう配慮されている。 ○ 単元の目当てや1単位時間の学習の目当てとまとめを記載し、児童が見通しを持ったり振り返ったりしながら学習を進められるよう配慮されている。 ○ 単元末に「学びのまとめ」を設定し、学習内容を習熟させることができるよう配慮されている。また、学習したことを活用して発展的に取り組める課題も配列されている。 ○ 領域や学習内容によって分量に大きな差が出ないようにページ数や時間数を計画的に配分することで、各学校の実態に応じて柔軟に指導できるよう配慮されている。 ○ 学年の始めの時期に楽しく学習できる内容や題材を取り上げたり、屋外での活動や水を使う単元を暖かい時期に設定したりするなど、教材の配列が工夫されている。 | | | | | | | |
| 3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自力解決の場面や伝え合う活動の中で図や表、式を活用するなど、数学的な表現が身に付くよう配慮されている。 ○ 問題と出会ったときの児童の問いや気付きを「学びのめばえ」として掲載し、目当てとそれに対応したまとめを例示したり、対話場면을例示したりして、主体的・対話的で深い学びにつながるよう配慮されている。 ○ 必修内容の「本編」と、個に応じて取り組める選択内容の「学びのサポート」との2部で構成し、児童が自己の学びを調整しながら学習できるよう配慮されている。 ○ 道徳教育やSTEAM教育、キャリア教育、SDGs等に関連した教材を取り上げており、各教科や総合的な学習の時間との関連に配慮されている。 ○ 紙面に二次元コードを掲載し、「動かす」「動画」「問題」「スライド」「解説動画」等でICTが児童一人一人の学びをサポートできるよう工夫されている。 | | | | | | | |
| 4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学年に応じた配当漢字を用い、見開きの初出には振り仮名が付けられている。文章の改行位置を文節で行い、児童が読みやすいよう配慮されている。 ○ 生活に密着した題材を写真や挿絵でページ内に大きく提示したり、児童が実際に活動している写真を使用したりするなど、児童の興味・関心を高めることができるよう配慮されている。 ○ 児童の発達の段階や個人差を考慮し、識別しやすいUDフォントが使用されている。軽量で裏写りのしにくい用紙を採用し、教科書の軽量化に配慮されている。 ○ 問題の理解や解決の手助けとなるよう、挿絵や図表等を主問題や練習問題の周囲に配置し、児童が視覚的に内容を捉えやすいように構成されている。 ○ 開きやすく強度が保てるあじろ綴じを採用し、堅ろうに製本されている。再生紙や植物油インキを使用し、環境やアレルギーにも配慮されている。 | | | | | | | |

| 種 目 | 算 数 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 1 1 6 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 算 数 | | 書 名 | しょうがくさんすう 1① しょうがくさんすう 1② 小学算数 2 上 2 下 小学算数 3 上 3 下 小学算数 4 上 4 下 小学算数 5 小学算数 6 |
|---|---|---|-------|---|-------|-------|--------|--|
| | | | 日 文 | | 1 2 2 | 1 2 3 | | |
| 1 内 容 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的に学習に取り組むことができるよう、目当てからまとめに至る学習過程を可視化するとともに、問題解決の着眼点として「見方・考え方」を示すことで、筋道を立てて考え、表現できるように配慮されている。 ○ 単元末に児童がつまづきやすい問題や数学的な見方・考え方を働かせる問題、単元の学習内容を確認する問題を設定し、確実な定着につながるよう配慮されている。 ○ 「使ってみよう」では、学習内容と生活場面を結び付けた内容とすることで、日常の事象を数理的に捉えながら算数の楽しさや意義を実感できるよう工夫されている。 ○ 低学年からの積み上げを意図して3学年以降に「倍」と「割合」に特化した単元を新設し、4学年以降の学習につながるよう工夫されている。 ○ 算数の特性に応じた学習内容、資料となっており、出所、出典が明示されている。 | | | | | | | |
| 2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 反復練習を要する内容は早期に配列したり、学習したことを繰り返し確認できるようにしたりすることで、学習内容の定着が図られるよう配慮されている。 ○ 新しい単元に入る前に、これから学習する内容の既習事項を確認する「次の学習のために」を設け、既習事項と単元の学習との系統性が分かるように示されている。 ○ 「学習をたしかに」では、基礎的・基本的な内容の問題と思考力・表現力を伸ばす問題が設定され、児童が学習内容を振り返り、定着につながるよう配慮されている。 ○ 標準時数に対し学年に応じて予備時数を設け、各学校の年間指導計画に適合できるよう配慮されている。 ○ 特定の地域に偏ることなく、認知度の高い施設や乗り物の写真、生活場面を取り扱っており、児童の生活経験に合った配列となっている。 | | | | | | | |
| 3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 算数の学習の学び方や算数で使いたい「見方・考え方」等を示し、知識・技能の確実な習得と主体的に学習に取り組もうとする態度が身に付くよう工夫されている。 ○ 教室での学習場面を想定した紙面とすることで、児童が学習の流れをイメージしやすく、側注をヒントに主体的・対話的で深い学びにつながる配慮がなされている。 ○ 「算数マイトライ」では、児童が自己の学びを調整しながら基礎的・基本的な問題や応用・発展問題、探究的な問題にも取り組むことができるよう配慮されている。 ○ 英語、道徳、防災・安全教育や伝統文化との関連した題材を取り上げ、日常生活と算数との結び付きを意識できるよう配慮されている。 ○ 「ヒントと答え」「動かす」「見る」「確認」など、学習内容に合わせてデジタルコンテンツを分類し、児童が直観的に操作できるよう紙面上に適切に配置されている。 | | | | | | | |
| 4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 文節で改行し文意を読み取りやすくするとともに、定義やまとめの解説文は一文で簡潔に表現されており、児童が理解しやすいよう配慮されている。 ○ 各単元の導入段階で、児童の興味・関心に働き掛ける題材や生活場面を取り入れ、学習意欲を高めるよう工夫されている。 ○ UDフォント、カラーユニバーサルデザインを採用しており、どの児童にも正しく内容が理解できるよう配慮されている。 ○ 場面や様子が一目で伝わるように写真やイラストが配置され、性別による服装や役割、人種や障害の有無に関わらないことに配慮されている。 ○ 環境を配慮し、植物油インキと再生紙を用いており、「学び方ガイド」と「見方・考え方」は繰り返しの使用を想定し、汚れや耐久性を考慮して作成されている。 | | | | | | | |

| 種 目 | 理 科 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 2 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 理 科 3 0 7 4 0 7 5 0 7 6 0 7 | 書 名 | 新編 新しい理科 3 新編 新しい理科 4 新編 新しい理科 5 新編 新しい理科 6 |
|---------------------------|--|---|----|---|--|------------|--|
| | | | 東書 | | | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自ら問題を見だし、予想や計画に沿って主体的に解決していく学習活動が展開される構成で、問題解決に必要な資質・能力が育成されるように工夫されている。 ○ 導入の「レッツトライ！」で自然の事物・現象について問題を見いだす活動が設定され、児童の興味・関心を高め、学習意欲が高まるよう配慮されている。 ○ 学習の前後の問い掛けにおいて自分の考えと比較する場面が設定され、それぞれが自己の成長を実感し、興味・関心が高まるよう工夫されている。 ○ 単元末に社会や生活とのつながりについて実感できるコラムを掲載し、理科の有用性を実感することで、学習したことを深めることができる内容となっている。 ○ 最新の技術やデータに基づいた多様な図版が偏りなく採用されており、その出所や出典が明示されている。 | | | | | | |
| 2 組織と配 列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 既習事項を想起できるように「思い出そう」が配置されるとともに、二次元コードが掲載され、学習の効果を高める配慮がなされている。 ○ 巻頭と巻末では各学年で学習する四つの領域の学習内容が整理され、系統立てた見通しと振り返りができるように工夫されている。 ○ 「たしかめよう」や「考えよう」では、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るとともに、SDGsなどの今日的課題を考えることができるよう配慮されている。 ○ 各学年ともに観察、実験の内容が精選されており、単元や1単位時間における学習にゆとりを持って取り組むことができるよう配慮されている。 ○ 季節に関連のある内容について、地域や学校の実態を踏まえた時期に配列されている。また、実験器具の使用時期が学年で重複しないよう配慮されている。 | | | | | | |
| 3 学習と指 導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ふりかえろう」と「たしかめよう」が配置されることで、基礎的・基本的な知識・技能の定着や、思考力・判断力・表現力等の育成が図られるよう配慮されている。 ○ 「のぼそう！理科の力」では、対話の具体例を示し、児童が参考にできるようにすることで、主体的・対話的な学びが実践できるよう工夫されている。 ○ 多様な教材を提示したり、学習と関連する発展的な事項を取り上げたりすることで、児童の個性や能力に応じて柔軟な指導ができるように配慮されている。 ○ 他教科の既習事項や生活経験との関連を図りながら学ぶことができるように、「思い出そう」が適切に設定されている。 ○ 巻末には、「理科とプログラミング」が設定され、二次元コードでプログラミングを体験できるとともにウェブページの活用を促すよう工夫されている。 | | | | | | |
| 4 表現と体 裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 表記、表現が学年に応じて適切であり、導入ページの漢字に振り仮名を付けたり、文節で改行して読みやすくしたりするなど、インクルーシブ教育に配慮されている。 ○ 問題解決の過程を1本の線でつなぎ、学びの流れを分かりやすく示すことで、児童の興味・関心や学ぶ意欲を高めるとともに、親しみを持たせている。 ○ A4版の紙面で、書体、配色ともにユニバーサルデザインが採用されている。また、活字の大きさや字体が適切で、イラストや写真も大きく、色彩や印刷が鮮明である。 ○ 導入場面では大きな写真や見やすい図表等が採用され、考察場面では対話の具体例を会話形式で配置するなど、深い学びに配慮された紙面構成となっている。 ○ 製本は体裁がよく、リサイクル再生紙や植物油インキを使用するなど環境への配慮がされている。また、持ち運びを考慮し軽量化されている。 | | | | | | |

| 種 目 | 理 科 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 4 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 理 科 3 0 8 4 0 8 5 0 8 6 0 8 | 書 名 | 新 版 た の し い 理 科 3 年 新 版 た の し い 理 科 4 年 新 版 た の し い 理 科 5 年 新 版 た の し い 理 科 6 年 |
|---|---|---|-----|---|--|--------|--|
| | | | 大日本 | | | | |
| 1 内 容 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 理科の見方・考え方を働かせ、見通しを持って観察、実験の充実を図る構成になっており、主体的に問題解決する資質・能力が育成されるように工夫されている。 ○ 理科を学ぶ意義や有用性、学んだことを日常生活との関わりの中で捉え直し、身近な事物・現象を重視した問題解決が展開されるように工夫されている。 ○ 理科の見方・考え方を大切に捉え、意欲的に取り組めるような観察、実験を採用し、興味・関心を持って学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 知識や技能、活用力が身に付くように工夫されている。また、豊富な資料から学んだことと実社会とのつながりを感じられるように配慮がなされている。 ○ 問題解決の過程に沿った今日的課題に関わる話題が偏りなく取り上げられており、資料の出所、出典も明らかである。 | | | | | | |
| 2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 導入に既習事項や経験したことを想起させる内容を提示し、まとめでは「りかのたまたまばこ」などで発展的な内容を紹介し、学習の効果があがるよう工夫されている。 ○ 各単元では、「見つけよう」「調べよう」「伝えよう」と、学習過程に沿った共通の項目で内容がまとめられている。 ○ 「たしかめよう」で基礎的・基本的な内容が確実に定着できるようにされており、その上で「学んだことを生かそう」において、発展的な学習が進められるよう配慮されている。 ○ 各単元の観察、実験の方法が精選され、ゆとりを持って指導を進めることができるため、2学期制、3学期制のいずれの年間計画にも対応できるよう配慮されている。 ○ 飼育・栽培・採集を行う動植物を複数取り上げており、地域の実態に合わせて実践できるように配慮されている。 | | | | | | |
| 3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に「理科の学び方」が示されているため、見通しを持って課題解決に取り組めるように工夫されている。 ○ 「やってみたい」「ふしぎだな」と思える身近な単元導入の場面設定で、児童の興味・関心を高め、主体的に取り組めるよう工夫されている。 ○ 観察や実験、まとめの方法が複数掲載されており、児童の多様な個性や能力に広く対応できるように工夫されている。 ○ 防災や伝統、英語など他教科に関連する項目にマークが記されており、他教科や総合的な学習の時間との関連に配慮されている。 ○ 巻末にノートの手書き方や実験器具の使い方が示されているとともに、挿絵や図表が豊富である。また、ウェブページの活用が適切に配置されている。 | | | | | | |
| 4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 表記や表現が学年に応じており、簡潔で分かりやすい表現を用いたり、振り仮名を適切に付けたりして読みやすいように配慮されている。 ○ 興味・関心を高める写真やイラスト、資料を取り上げ、より理科への親しみや魅力を感じられるように配慮されている。 ○ ユニバーサルデザイン、UDフォントを使い、見やすく、読み間違えにくい配慮がなされている。また、イラストや写真も鮮明である。 ○ 見開きページにダイナミックな写真を掲載し、レイアウトやバランスが適切である。また、実験の結果などの図表も見やすく配置されている。 ○ 製本は体裁がよく、表紙には丈夫で汚れにくいUVラミコートを施すなど堅ろうに仕立てられており、印刷には環境に配慮した植物油インキが使用されている。 | | | | | | |

| 種 目 | 理 科 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 1 1 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 理 科 3 0 9 4 0 9 5 0 9 6 0 9 | 書 名 | み ん な と 学 ぶ 小 学 校 理 科 3 年 み ん な と 学 ぶ 小 学 校 理 科 4 年 み ん な と 学 ぶ 小 学 校 理 科 5 年 み ん な と 学 ぶ 小 学 校 理 科 6 年 |
|---|--|---|--------|---|--|------------|--|
| | | | 学 図 | | | | |
| 1 内 容 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元で身に付けたい力を「理科モンスター」というキャラクターで示し、児童が親しみを持って、学習に取り組めるよう工夫されている。 ○ 観察、実験及び飼育・栽培など、児童の直接体験が重視されており、自然を愛する心情を育てる工夫がされている。 ○ 単元の導入では、身近な生活場面や科学的なエピソードを取り上げることで、児童が疑問を持ち、問題解決に対する意欲を高めるよう工夫されている。 ○ 各学年における教材や観察、実験などの活動が精選されており、標準時数内で体験を重視しながら、ゆとりがあり効果的な学習ができるよう工夫されている。 ○ 身に付けさせたい資質・能力を育成するための学習内容が各学年の発達の段階に応じて適切に配置され、掲載している資料の出所、出典が明示されている。 | | | | | | |
| 2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学年間の系統性を意識し、既習事項を生かしながら話し合いができるように学習内容が配列され、学習の効果が高まるように配慮されている。 ○ 理科の目標を踏まえて、学習のねらいが達成されるように、単元の冒頭で学びの流れや学習の見方・考え方を示すなど、内容の系統性が分かるように配慮されている。 ○ 実験結果を考察した「わかったこと」を示したり、生活の場面とのつながりを「資料」で取り上げたりするなど、学習の定着や発展学習への配慮がなされている。 ○ 学習の深まりや発展的な学習を取り上げながらも、標準時数内で実施できるように構成され、各学校の実態に対応できるよう配慮されている。 ○ 栽培教材については多様な地域に対応できるよう配慮され、単元の多様な組み替えができるように組織・配列が工夫されている。 | | | | | | |
| 3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 問題解決の中で、他者との対話を通して考える場面や、自己の考えを再構成する場面を位置付けるなど、思考力・判断力・表現力等を高める配慮がなされている。 ○ 予想や考えを整理し分かるように伝え合う、多様な考えを基に学びを深め合う場面が設定されており、主体的・対話的で深い学びへの配慮がなされている。 ○ 記録や発表等の方法が複数提示され、児童が能力に応じてその方法を選択することで、自己の学びを調整しながら学習できるよう配慮されている。 ○ 他教科で同時期に学習する内容を詳しく説明するページを設けたり、環境や日常生活の関連した場面を提示したりするなど、他教科等との関連に配慮がなされている。 ○ 学習に関連した二次元コードを掲載し、児童が必要に応じて学習に使えるよう配慮されている。 | | | | | | |
| 4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な特性の児童に配慮し、「短い文と写真を対応させて見て分かる」「作業を細かく分解する」などの工夫がなされている。また、表記、表現が学年に応じている。 ○ 単元の振り返りではものづくりなどを通して、楽しみながら学んだことを生かす場面が設定され、理科に対して親しみや魅力を感じられるよう配慮されている。 ○ 書体、配色ともにユニバーサルデザインが用いられ、活字の大きさや字体が適切である。文字・写真・図版いずれも鮮明に印刷されている。 ○ 実験の結果の写真は、比較しやすいように並べて示すなど、見やすく分かりやすいレイアウトになっている。 ○ 製本は開きやすく、年間を通した学習にも十分耐えうる堅ろうなつくりになっている。環境に配慮した紙と植物油インキを使用している。 | | | | | | |

| 種 目 | 理 科 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 1 7 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 理 科 3 1 0 4 1 0 5 1 0 6 1 0 | 書 名 | みらいをひらく 小学理科 3 未来をひらく 小学理科 4 未来をひらく 小学理科 5 未来をひらく 小学理科 6 |
|---|---|---|-----|---|--|--------|---|
| | | | 教出 | | | | |
| 1 内 容 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の発言例に「見方のカギ」「考え方のカギ」のマークを付け、理科の見方・考え方を働かせることができるように工夫されている。 ○ 予想の手掛かりとなる事柄を示したり、写真などで手順を説明したりするなど見通しを持って観察、実験ができるように工夫されている。 ○ 学習意欲を高めることができるように、児童にとって身近な事物・現象を取り上げ、児童の気付きや疑問から問題解決が進められるように工夫されている。 ○ 予想や考察についての話し合いの例を示し、見通しを持って問題解決に取り組むことで児童の考えが深まるように工夫されている。 ○ 問題解決に取り組む際に観察、実験の手順や結果の確認などがしやすい資料が提示してある。また、掲載している資料の出所、出典がしっかりと明示されている。 | | | | | | |
| 2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭で前学年の学習内容を振り返ったり、単元の最初で関連する内容を確認したりすることができるように系統性を意識した構成になっている。 ○ 学習を通して、習得すべき知識に「結論マーク」を付け、単元で学習する内容が明確になるように工夫されている。 ○ 「振り返ろう」で学習内容の定着を図り、「学びを広げよう」や「チャレンジ」で様々な事物・現象について学習内容を生かして考えることができるよう配慮されている。 ○ 観察、実験の方法を精選し、考える内容を焦点化することで各学年ともゆとりを持って学習できるよう工夫されている。 ○ 各学年で理科室の使用が重ならないように、また、地域による動植物の成長の違い等に配慮できるようにそれぞれの内容が適期に配列されている。 | | | | | | |
| 3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元末の「たしかめよう」で学習した内容について科学的な言葉を使って説明する問題を設定し、思考力・判断力・表現力等を育成できるように配慮されている。 ○ 「見つけよう」で様々な事物・現象に触れさせ、「学びを広げよう」で学習内容を基に考えさせるなど、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて工夫されている。 ○ 単元導入時と単元末で成長が実感できる場面を設定することで自己の学びを調整しながら学習できるよう工夫されている。 ○ 「思い出そう」「資料」「科学のまど」等で各教科等の学習内容との関連を示し、他教科との関わりを意識できるよう配慮されている。 ○ 観察、実験の方法や結果などを写真等で確認したり、関連する情報を二次元コードで閲覧したりできるように工夫されている。 | | | | | | |
| 4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 当該学年の配当漢字に合わせて、平仮名にしたり、初出の漢字には振り仮名を付けたりするなど表記、表現が学年に応じている。 ○ 児童や教師のキャラクターを登場させ、問題解決の様子を示すことで、理科の魅力や学習への親しみを感じるよう配慮されている。 ○ ユニバーサルデザインを採用し、大事な用語は太字で表示するなど分かりやすく適切である。また、印刷も鮮明で見やすくなっている。 ○ A4変形判を採用し、観察、実験の方法を説明する場面や考察する場面などに大きなイラストや写真を配置し、学習の流れが分かりやすくなるように工夫されている。 ○ 再生紙と植物油インキを使用し、表紙には耐水や防菌加工が施され、環境への配慮がなされている。また、製本は体裁がよく堅ろうに仕立てられている。 | | | | | | |

| 種 目 | 理 科 | 発行者の 番号・略称 | 2 6 | 教科書 の記号・ 番号 | 理 科 3 1 1 4 1 1 5 1 1 6 1 1 | 書 名 | 楽しい理科 3年 楽しい理科 4年 楽しい理科 5年 楽しい理科 6年 |
|-------------------------------|---|---------------|-----|-------------------|---|--------|--|
| | | 信教 | | | | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な自然と関わりながら問題を見だし、理科の見方・考え方を働かせながら、主体的・対話的に追究し問題解決していくように教材や単元構成が工夫されている。 ○ 単元導入時に見出した問題を主体的に追究できる単元構成であり、観察、実験の結果を整理して考察し、表現する活動の進め方が分かりやすく示されている。 ○ 「しらべてみよう」「やってみよう」が設定されており、生活への応用力や科学的なものの見方が高まるとともに、児童が意欲的に学習できるよう工夫されている。 ○ 安全に配慮しながら学習のねらいが達成できるように、観察、実験の手順や方法が写真や絵図などで分かりやすく提示されている。 ○ 学習内容に沿って自然の事物・現象の多様な写真等が使用され、内容に偏りがなく、出所、出典が明示されている。 | | | | | | |
| 2 組織と 配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 季節の特徴や生物の生育状況、学校行事の時期などを考慮した単元配列になっており、適した時期に観察や実験、飼育や栽培ができるよう配慮されている。 ○ どの単元においても問題解決の流れを大切に単元構成となっており、科学的な言葉や概念を使用して考えたり、説明したりできるよう配慮されている。 ○ 単元末に「ふりかえろう」が設定され、科学的なものの見方・考え方を高め、基礎的・基本的な内容の確実な理解が図られるよう配慮がされている。 ○ 巻頭の「1年間の学習」に学習内容や観察、栽培の時期を示すとともに、内容や分量が計画的に配置され、見通しを持って学習できるようになっている。 ○ 地域の実態に応じて、適した時期に観察や実験ができるように配慮されているとともに、単元を組み替えることができるよう工夫されている。 | | | | | | |
| 3 学習と 指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に「理科の学習の進め方」が示されており、課題に対して見通しを持ち、主体的に学習が進められるように配慮されている。 ○ 児童が問題意識を高め、話し合いで課題を見だし、結果を基に考察を深めたりする過程が具体的に示されており、深い学びを実践する工夫がなされている。 ○ 学習展開の中で、「しらべてみよう」「やってみよう」を設け、多様な方法で課題を追究できるようにするなど、児童の個性や能力に対応できるように配慮されている。 ○ 「生命・地球」領域や「物質・エネルギー」領域等で環境との関わりが意識できるよう工夫されるなど、他教科や総合的な学習の時間との関連に配慮が見られる。 ○ 単元ごとに実験器具の使い方をイラストや写真で掲載し、分かりやすく記している。また、参考資料や補助資料を閲覧できる二次元コードが適切に配置されている。 | | | | | | |
| 4 表現と 体裁等 に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 配当学年以上の漢字に振り仮名を付けたり、学習の参考になる「観察カード」や「まとめ方」の例を掲載したりするなど、表記、表現が学年に応じている。 ○ 見開きの写真、手書きの文字やイラスト、図表などを随所に掲載することで、より親しみや魅力を感じるよう配慮されている。 ○ 学習問題、観察、実験などは、活字の大きさや字体を変え、読みやすくしており、ユニバーサルデザインを取り入れるなどの配慮がなされている。 ○ A B版サイズで写真や図表などを大きく掲載し、興味・関心を持たせる写真や絵図、イラストが随所に取り入れられ、大きさや配置が工夫されている。 ○ 製本は体裁がよく、軽量の紙を用いていて堅ろうに仕立てられている。また、再生紙や植物油インキを使用するなど、環境への配慮がある。 | | | | | | |

| 種 目 | 理 科 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 6 1 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 理 科 3 1 2 4 1 2 5 1 2 6 1 2 | 書 名 | わくわく理科 3 わくわく理科 4 わくわく理科 5 わくわく理科 6 |
|---|--|---|-----|---|--|--------|--|
| | | | 啓林館 | | | | |
| 1 内 容 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 小单元ごとに問題、予想、観察、実験、考察、結論の段階を明確に示し、問題解決の力を意識しながら育成することができるように配慮されている。 ○ 予想や考察の場面で話し合いの具体の様子を示し、根拠を基に予想したり、結果を基に考察し、話し合ったりすることができるように工夫されている。 ○ 児童の探究心を高めることができるように、単元の導入で身近な事物・現象の写真を大きく提示して素朴な疑問や気付きを引き出せるように配慮されている。 ○ 観察、実験の内容が精選され、「考察しよう」と「まとめ」で学習内容の確実な定着を図り、「理科の広場」等で知識を日常生活に生かせるように工夫されている。 ○ 様々な地域の写真や資料を使い、日本全国の地形や自然の様子に触れられるように配慮されている。また、出所、出典が明示されている。 | | | | | | |
| 2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の導入において「思い出してみよう」で関連する学習内容を示し、既習事項を基に予想できるように系統性を意識して配列されている。 ○ 問題解決の過程を「学びのライン」で示し、学習の見通しを持てるようにすることで内容のまとまりが明確になるように工夫されている。 ○ 単元の最後の「まとめノート」で学習内容の確認を行い、「活用しよう」で身近な事物・現象について既習事項を活用して考えることができるよう工夫されている。 ○ 観察や実験の手順を丁寧に掲載することで授業時間内に結果が得られるようにし、ゆとりを持って学習ができるように配慮されている。 ○ 栽培教材については、季節に合わせて配列されている。また、複数の植物を掲載し、地域の実態に合わせるように工夫されている。 | | | | | | |
| 3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 問題解決の過程を「見つける・調べる・まとめる」の3段階で視覚的に分かりやすく示し、単元の導入から単元末まで主体的に学習が進められるように配慮されている。 ○ 児童が主体的に考え、話し合っって課題を見いだす過程や、結果を基に考察する様子を具体的に示し、深い学びへ向かう力を育てる工夫がされている。 ○ 単元末の振り返りでは学習の要点が分かりやすく整理されている。さらに、補充問題に取り組むことで児童の理解度に応じた学習ができるように配慮されている。 ○ 他教科で同時期に学習する内容を詳しく説明するページを設け、教科横断的な学習が意識されており、他教科や総合的な学習の時間等の関連に配慮されている。 ○ 挿絵や写真等を用いて観察、実験の手順が分かりやすく示され、学習に関連した内容を、二次元コードを用いて詳しく調べることができるなどの工夫がなされている。 | | | | | | |
| 4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 配当学年以上の漢字には振り仮名を付けたり、文章を文節で改行して読みやすくしたりするなど、表記、表現が学年に応じている。 ○ 単元導入で児童が興味を持つダイナミックな写真を掲載し、巻末にものづくりを扱うことで、児童が理科の学習に親しみや魅力を感じるよう配慮されている。 ○ 書体、配色ともにユニバーサルデザインが用いられ、活字の大きさや字体が適切である。文字・写真・図版ともに色彩、印刷が鮮明である。 ○ 観察、実験や考察の場面では、操作手順や思考の流れが写真や図を用いて分かりやすく示され、紙面のレイアウトやバランスが工夫されている。 ○ 製本は体裁がよく、軽量の紙を用いて堅ろうに仕立てられている。再生紙や植物油インキを使用し、環境への配慮がある。 | | | | | | |

| 種 目 | 生 活 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 2 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 生 活 1 1 7 1 1 8 | 書 名 | ど き ど き わ く わ く 新 編 あ た ら し い せ い か つ 上 あ し た へ じ ゃ ん ぷ 新 編 新 し い 生 活 下 |
|---|---|---|----|---|------------------------------|--------|--|
| | | | 東書 | | | | |
| 1 内 容 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が活動や体験をする過程において、対象と十分に関わり合えるよう、身近で取り組みやすい学習活動や学習材が重点的に取り上げられている。 ○ 児童が自分の役割を果たそうとする態度を養えるよう、家族のことや自分でできることについて考える学習が、2年間に渡って継続的・発展的に設けられている。 ○ 上巻は主に身近な人やもの、下巻は地域の人やものへと対象が広がっていくように学習内容が構成されており、児童の発達の段階や特性に応じて学習意欲を高められるよう工夫されている。 ○ 対象と十分に関わる時間を確保した内容に構成され、学校や学級、児童の状況に応じて発展的・選択的に活用できる学習内容も随所に設けられている。 ○ 2年間に渡る具体的な活動や体験を通して資質・能力が育まれるよう、内容の取り扱いに偏りがなく、適切に取り上げられている。 | | | | | | |
| 2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が四季の変化を意識しながら生活や学習ができるよう、季節の流れを軸に、時系列で単元が配列・構成されている。 ○ 生活科で育成すべき「資質・能力」の三つの柱が、児童の姿や吹き出し、表現作品などに具体化され、適切に配列されている。 ○ 児童の発達の段階や特性を踏まえ、関わる対象、思いや願いの質、育成すべき資質・能力などが、上巻から下巻へ段階的に高まるように単元が構成されている。 ○ 資質・能力が、挿絵や写真、吹き出しで例示されていたり、他教科等との関連的な指導のヒントが掲載されていたりするなど、教科横断的な教育課程の編成に配慮されている。 ○ 児童の生活や地域の実態に応じて活動を工夫、発展できるように、「つながるひろがる」コーナーに活動例が多数掲載されている。 | | | | | | |
| 3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が見方・考え方を生かしている姿を、学習活動や思考の流れに沿った具体的な挿絵で示し、育成すべき資質・能力を意識しながら学習を進められるよう配慮されている。 ○ 具体物を使った振り返り活動や、言語活動の充実を図る「学びをふかめる」コーナーを設け、児童が主体的・対話的で深い学びを実現するための工夫がなされている。 ○ 個別最適な学びの実現に向けて、児童の思いや願いに合わせた活動例、表現例が示されており、多様な個性や能力に対応できるよう配慮されている。 ○ 他教科で身に付けた力を生かす活動場面や、地域や社会と連携する活動場面が例示されており、他教科と相互に学びを生かすことができるよう配慮されている。 ○ 活動のめあてや「学びをふかめる」コーナー、学習カードなどが適切に示されており、児童が見通しを持って活動に取り組めるよう配慮されている。 | | | | | | |
| 4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学年の学習内容に則した平仮名や片仮名、漢字の使い分けや文節改行、分かち書き等が施されており、低学年児童が読みやすい表記となっている。 ○ 単元扉がダイナミックな見開き構成となっており、児童が活動への意欲を高め、見通しを持って取り組めるよう工夫されている。 ○ 活字は教育用UDフォントが使用されている。写真や挿絵はすべてカラーで、鮮明に印刷されている。 ○ 低学年児童や特別な支援が必要な児童にとっても内容が分かりやすくなるよう、ポイントとなる写真や挿絵等の資料が全単元ほぼ同じ箇所に配置されている。 ○ 軽量の専用用紙が用いられ、開きやすく堅ろうなあじろ綴じで製本されているなど、低学年児童に配慮したつくりになっている。 | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---------------------------|---|---------------|--------------|---------------|----------------------|--------|--|
| 種 目 | 生活 | 発行者の 番号・略称 | 4 大日本 | 教科書の 記号・番号 | 生活 119 120 | 書 名 | 新版たのしいせいかつ 上 だいすき 新版たのしいせいかつ 下 ひろがれ |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 多様で具体的な活動や体験を通して、児童の興味・関心や発達の段階に応じた学習が進められるように内容が工夫されている。 ○ 児童が自ら考えられるような投げ掛けを示したり、試行錯誤が生まれるような環境を設定したりするなど、児童が学習に主体的に関われるよう配慮されている。 ○ 児童が様々な場面で活動する写真や対象と主体的に関わろうとしている挿絵が多く掲載され、児童の意欲を引き出し、具体的な活動や体験へとつながるよう工夫されている。 ○ 体験活動と表現活動が繰り返される構成にすることで、気付きの質を高める活動の流れになるよう工夫されている。 ○ 児童の思いや願いから主体的に活動できるような資料が幅広く掲載され、児童の実態に即して学習活動が進められるようになっている。 | | | | | | |
| 2 組織と配 列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 季節の流れに沿った単元で構成されているため、児童の意欲に沿って、季節の変化や実生活と活動を結び付けながら学習が進められるように工夫されている。 ○ 活動内容が見開きごとに分かりやすく示されており、活動の課題と最終目標が読み取りやすくなるように工夫されている。 ○ 上下巻を通して同様の学習材を扱う際には、上巻から下巻に活動が展開し、児童の発達の段階に即した発展的な活動内容となるよう配慮されている。 ○ 個々の活動単元の組み替えが容易にできるように配慮されており、2学期制、3学期制に対応できるよう配慮されている。 ○ 多様な活動ができるように、各単元や巻末に「がくしゅうどうぐばこ」が配列され、児童の生活や地域の実態に応じて広く適合できるよう配慮されている。 | | | | | | |
| 3 学習と指 導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の気持ちや考えを書き込む枠が設けられており、児童が自分の生活経験を重ねながら主体的に学習を進められるよう工夫されている。 ○ 単元に関わる具体物の写真を多く取り入れており、児童が活動場面を想像して興味・関心を高め、自分の考えを相手との対話を通して深められるよう工夫されている。 ○ 単元の途中や文末に、学習内容に合わせた「がくしゅうどうぐばこ」が適宜配置されており、その都度必要な知識や考え方を得ながら学習できるよう配慮されている。 ○ 「きらきらことば」や「せいかつことば」で学習に関連する語彙が多く示されており、道徳や他教科の学習での表現に生かせるよう配慮されている。 ○ 活動の様子が分かる挿絵や写真とともに、関連するウェブサイトへのリンクが配置され、児童一人一人の思いや願いに合わせた情報を得られるよう工夫されている。 | | | | | | |
| 4 表現と体 裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の学習進度に配慮して1学年の配当漢字を上巻から使用しており、すべてにルビが振ってある。また、片仮名は上巻の後半から平仮名でルビを振って使用し、児童の読み取りに差し支えがないように配慮している。 ○ 児童の自然な表情を写した写真や色彩豊かな挿絵を数多く掲載し、活動への親しみや魅力を感じることができるよう配慮されている。 ○ 色覚の特性に依らず情報が読み取れるよう配色に配慮され、UDフォントを使用した読みやすい字体を採用している。 ○ A4版の大きな紙面に変更したことで、より自由なレイアウトで印象的な表現ができるよう考慮されている。 ○ 表紙は丈夫で汚れにくくなるよう加工され、光触媒を利用した抗菌・抗ウイルス処理を施してあり、環境に配慮した紙と植物油インキを使用している。 | | | | | | |

| 種 目 | 生 活 | 発行者の 番号・略称 | 1 1 | 教科書の 記号・番号 | 生活 1 2 1 1 2 2 | 書 名 | みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 上 みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 下 |
|-------------------------------|---|---------------|-----|---------------|--------------------------|------------|--|
| | | | 学図 | | | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 2年間を通した長期的・継続的な学習活動となるように各単元が構成されており、児童が対象と繰り返し関わる中で、資質・能力が育まれるよう配慮されている。 ○ 単元全体を通して、児童の身近な人々、社会、自然と直接関わる場面が数多く設定されており、そこから具体的な学習活動の充実を図ることができるようになっている。 ○ 各単元に登場するキャラクターの対話や取組を通して、児童が自身の思いや願いを高め、意欲的に活動できるようになっている。 ○ 活動や体験の場が、上巻では学校や学校の周辺、下巻では地域と広がっていくなど、児童の発達の段階に合わせて系統的に活動が展開していくような構成となっている。 ○ 地域や学校の実態、児童の実態に合わせて適宜扱えるよう、資料や素材が偏りなく複数提示されている。 | | | | | | |
| 2 組織と 配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「探検単元」「遊び単元」「栽培単元」「飼育単元」「成長単元」で構成され、児童の発達の段階に配慮されている。また、活動展開が分かりやすく見通しが持ちやすい。 ○ 1活動1見開き単位の単元構成となっており、単元の流れが把握しやすく、具体的な活動を通して「何を、どのように学習する」かが分かりやすく配列されている。 ○ 「もっと」のページでは、活動を通して自信を高めた児童が、更に意欲を持って取り組めるよう例示されており、発展的な学習を進められるよう配慮されている。 ○ 学習内容が精選されており、対象に関わる時間が確保された構成になっている。また、ゆとりを持った活動が展開できるよう配慮されている。 ○ 活動時期を限定せず、地域や学校の環境、児童の意識などに応じて、学習時期を組み替えたり、軽重を付けて指導したりすることができる構成である。 | | | | | | |
| 3 学習と 指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元ごとに、児童の思いや願いが高めながら、問題を解決し、次の活動へとつながるよう構成されており、児童自身が見通しを持って進められるように配慮されている。 ○ リード文や吹き出しが児童の言葉で示されるとともに、児童が人と関わる場面を多く取り上げ、主体的・対話的に学ぶことができるよう工夫されている。 ○ 単元末の振り返り場面や巻末の「学び方図かん」において、対象への働き掛け方やまとめ方が例示され、児童が多様な表現方法を活用できるよう工夫されている。 ○ 児童の吹き出しから他教科へのつながりを図れるよう工夫され、表現活動でも他教科との関連を意識したまとめ方が例示されている。 ○ 見せたいものを写真で、説明したいものを挿絵で示すよう意図的な配置がなされている。また、単元内の「ものしりノート」や巻末の「学び方図かん」で、児童が自ら活動を広げられるよう配慮されている。 | | | | | | |
| 4 表現と 体裁等 に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 上巻は文字が少なく、夏休み以降の単元から1学年の配当漢字と片仮名を使用し、下巻は2学年の配当漢字全てにルビを振るなど、学年に応じて配慮されている。 ○ 児童が友達と関わりながら生き生きと活動する写真が大きく示され、児童の協働的な活動意欲を引き出すとともに、活動の流れが分かるよう配慮されている。 ○ 白色度が高く光沢のある用紙に鮮明で見やすく印刷されている。また、全体的に色味が抑えられており、視認性のよいUDフォントが用いられている。 ○ 写真や挿絵、図表は大きく示され、活動場面をイメージしやすい構図に工夫されている。また、見出しや学習カードの位置を揃え、分かりやすい表現になっている。 ○ 見開き部分がよく開いて見やすく、堅ろうに製本されている。表紙は厚い用紙が使われ、汚れや濡れに強いコーティングがされている。 | | | | | | |

| 種 目 | 生 活 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 1 7 教 出 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 生 活 1 2 3 1 2 4 | 書 名 | せいかつ上 みんな なかよし せいかつ下 なかよし ひろがれ |
|---|---|---|----------------|---|---------------------------|------------|---|
| 1 内 容 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の意欲を高めるような導入写真や気付きを促す吹き出しや、多様な観点からの振り返りなど、単元を通して児童が活動や体験に主体的に取り組めるような構成となっている。 ○ 児童の思考の流れに沿った活動内容が示されており、活動していく上で生まれる思いや願いに対し、試行錯誤や自力解決を促す写真が多数掲載されている。 ○ 活動や体験をしている姿が写真や挿絵で数多く掲載されており、児童が学習のイメージを膨らませ、意欲や自信を持って取り組めるよう工夫されている。 ○ 各単元に、見付ける、比べる、たとえば、試す、見通す、工夫するなどの学習方法を繰り返し行えるよう例示され、学習の発展が図れるよう工夫されている。 ○ 上巻下巻を通して、様々な人々や地域のくらし、自然などが幅広く取り上げられ、偏りがなく学びが展開できるよう配慮されている。出所、出典が明示されている。 | | | | | | |
| 2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 2学年を通して、児童の発達の段階に応じて活動の範囲や気付きが広がっていくよう配慮された単元の配列となっている。 ○ 導入の「わくわくスイッチ」で動機付け、「はっけんロード」と「はてな」で自ら活動を組み立て、「ぐんぐんはしご」で振り返って自分の成長を自覚できるよう構成されている。 ○ 児童が自ら活動内容を把握し、見通しを持って学習に取り組むことができる構成で、友達と伝え合う活動や振り返りの場が豊富に設定されており、基礎的・基本的な内容の定着に重点が置かれている。 ○ ゆとりを持って活動できるよう時数が適切に設定されている。また、各単元で多様な活動例が示されており、各学校の実態に応じた計画が作成できるよう配慮されている。 ○ 様々な地域のくらしの様子や、自然との関わり方が取り上げられており、児童の実態や地域の特色を生かした学習活動が工夫できるように配慮されている。 | | | | | | |
| 3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 小単元ごとに「サイコロ」で活動のめあてを示し、児童、教師、保護者がともに育成すべき資質・能力を意識しながら活動を進められるよう配慮されている。 ○ 各単元の始めにある「わくわくスイッチ」を用いることで、児童の言葉で学習の動機付けを行い、主体的・対話的に学ぶことができるよう工夫されている。 ○ 児童が活動する際に「ひんと」で対象の見方・考え方を広げたり、学習の終末で「ぐんぐんはしご」を基に自己の活動を振り返ったりしながら、自己の学びを調整することができるよう配慮されている。 ○ 巻末の「学びのポケット」で、どの教科と関連のある学びができるかということが具体的に示され、学んだ力を相互に生かすことができるよう配慮されている。 ○ 単元ごとに、学びに合わせた学習の手引きやカード、挿絵が例示されており、また関連する「学びのポケット」の項が示されているなど、配置が工夫されている。 | | | | | | |
| 4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 上巻下巻ともに平仮名や片仮名、配当漢字が学年に応じて適切に表記されている。 ○ 児童が親しみを持って学習を進められるように絵本のキャラクターをナビゲーターとして採用し、学習内容への魅力を感じることができるよう配慮されている。 ○ 表記は児童が読みやすい正しい字形や文字の大きさに配慮されたUDフォントが使用され、色彩、印刷ともに鮮明である。 ○ 大きな紙面を生かした写真や挿絵、児童の気付き等がバランス良く配置されている。 ○ 表紙は抗菌加工と汚れ等に強いコーティングが施され、製本は「あじろ綴じ」を用いて長期間の使用に耐えられる堅ろうな作りとなっている。 | | | | | | |

| 種 目 | 生 活 | 発行者の番号・略称 | 2 6 | 教科書の記号・番号 | 生活 1 2 5 1 2 6 | 書 名 | せいかつ 上 あおぞら せいかつ 下 そよかぜ |
|-----------------------|--|-----------|-----|-----------|--------------------------|------------|--------------------------------|
| | | 信教 | | | | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 日常生活から児童の思いや願いが生まれる場面や、探究する活動を通して、児童が主体的に対象と関わる中で資質・能力が育まれるよう配慮されている。 ○ 活動や体験がより深い学びにつながるよう、児童同士の学び合いや情報交換の場が効果的に設定されている。 ○ 「たんごのせっく」「たなばた」「お正月」等、児童が経験したことがある身近な季節の行事を扱うことで、より主体的な活動や体験が展開できるようになっている。 ○ 児童が対象とじっくりと関わり、豊かな学びへと発展していけるよう、学習内容が精選・集約して構成されている。 ○ 児童にとって身近で日常的な事象が偏りなく取り上げられ、直接体験を通して学習を深めていけるよう配慮されている。出所や出典が明示されている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が、四季を通して繰り返し地域に足を運ぶことで、多様な気付きや発見の喜びを引き出し、ふるさとへの愛着を深められるような内容構成になっている。 ○ 活動から自発的に生まれる児童の思いや願いを基に、学習のねらいへ迫れるよう、内容ごとに活動場面の写真が効果的に配置されている。 ○ 「感動体験」や「探究活動」、「表現活動」を多様に示すことで、活動や体験がより深い学びにつながるよう構成されている。 ○ 多様な探究活動や表現活動が年間3 5週で適切に割り振られており、それを基に学校の実態や特色に合った学習が展開できるようになっている。 ○ 地域の人々や施設、行事等が複数取り上げられ、児童が地域の「ひと・もの・こと」と関わり、触れ合いながら学びを深めていけるような単元構成になっている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 豊かな自然や季節の行事と繰り返し関わる活動の中で、児童の意欲が喚起され、主体的に学習を進められるよう配慮されている。 ○ 具体的な活動を通して生まれる児童の思いを大切に学習展開と、協働的な体験を振り返る表現活動が示され、深い学びにつながる工夫がされている。 ○ 体験活動や探究活動の様子が多く例示されており、児童が自分の思いに沿った活動を選んだり、児童の個性や能力に対応したりすることができるよう配慮されている。 ○ 遊びや具体的な活動、体験が、自分の生活や他教科での学習の場面で生かされる様子が写真や挿絵で示され、合科的な指導につながるよう配慮されている。 ○ 繰り返し関わることで生まれる思いや願いを、様々な対象と継続的に関わっている写真や挿絵で示し、複数ページにまたがり効果的に配置されている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 国語科の指導に配慮し、上巻の始めは平仮名、後半はルビの振られた1学年担当漢字、下巻は2学年までの担当漢字が使用され、学年に応じて表記が配慮されている。 ○ 紙面を構成する挿絵、写真、児童作品には、活動の様子や友達と関わる様子が表現され、児童がこれから学習する内容への魅力を感じられるよう工夫されている。 ○ 必要な情報が伝わりやすいよう、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。写真や挿絵も全てカラー印刷され、色彩、印刷ともに鮮明である。 ○ 挿絵は細部まで分かるよう大きく示され、写真とともに配置することで具体的な活動方法が分かりやすいよう配慮されている。 ○ 製本は開きやすく堅ろうで、環境への配慮のため、再生紙、植物油インキを使用している。 | | | | | | |

| 種 目 | 生 活 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 3 8 光村 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 生 活 1 2 7 1 2 8 | 書 名 | せいかつ たんけんたい 上 はじめてが いっぱい せいかつ たんけんたい 下 はっけん だいすき |
|---|--|---|---------------|---|------------------------------|------------|---|
| 1 内 容 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 全単元において、児童にとって身近で取り組みやすい学習活動や学習対象が取り上げられており、児童が対象と繰り返し関わる中で、体験活動が充実するよう配慮されている。 ○ 単元の終末では、対話の中で気付きの質を高めた後に、個人で振り返らせることで、児童が自分の成長を実感できるような構成となっている。 ○ 学習対象と出会って心がわき立つ様子や、個性を大切にしながら学んでいく様子が多く取り上げられており、児童が学習のイメージを膨らませながら意欲を持って取り組めるよう配慮されている。 ○ 全単元を通して、「導入」「展開」「振り返り」で構成されている。学習の見通しや体験活動、気付きの高まりの例が具体的に示されている。 ○ 題材の選択や扱いは、特定の事項・事象・分野に偏ることなく調和を図っている。資料の出所、出典も明らかである。 | | | | | | |
| 2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習活動の流れが示されている本編と、別冊資料編「ひろがるせいかつじてん」の分冊で構成されており、児童が主体的に学びを深められるよう配慮されている。 ○ 単元の導入の段階で児童が学習過程を確認し、意欲的かつ主体的に学習を進められるような構成になっている。また、巻末に1年間の学習全体を振り返るコーナーが設けられている。 ○ 児童が自ら活動に取り組みたくなり、課題意識の醸成につながるような言葉が単元の始めに、児童への「問いかけ」として示されている。 ○ 単元は季節に沿って無理なく構成・配列されており、2学期制・3学期制のいずれにも対応できるよう配慮されている。 ○ 児童の発達の段階に応じ、対象や関わり方について配慮された学習内容が上巻下巻に適切に位置付けられている。 | | | | | | |
| 3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 具体的な活動写真や挿絵とともに、「学びのヒント」として考えの依りどころとなる視点が各小単元に示され、児童が主体的に対象と関われるよう配慮されている。 ○ 児童の気付きを端緒として対象と関わる場面が多く取り上げられ、単元の終末には対話による振り返りの様子が示されるなど、主体的・対話的な学びになるよう工夫されている。 ○ 各単元の「ヨシタケさんのコーナー」において、予想される児童の疑問や多様性を挿絵で示し、自分らしく学ぶことの大切さを知ることができるよう配慮されている。 ○ 教科横断的な指導ができるよう、振り返りや伝え合いの場面で、カードや作品、発表の仕方等の他教科での学習を生かした表現方法が例示されている。 ○ 巻末には、学習の手引きとして季節の探検に持ち出せるカードや別冊資料編がまとめて配置されており、児童が場面ごとに活用しやすいよう配慮されている。 | | | | | | |
| 4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の発達の段階を考慮した平易な表記・表現で構成されている。文章は全て文節ごとに分ち書きがされており、読みやすさに配慮されている。 ○ 児童の表情豊かな写真や、統一された挿絵が用いられ、実際の児童に想定される素朴なつぶやきが記されるなど、親しみやすく共感しやすい内容となっている。 ○ 挿絵は色覚の多様性に配慮し、優しい色遣いで描かれている。本文には読みやすさを強調して作られたUDフォントが使用され、印刷が鮮明である。 ○ 見出しや写真、各コーナーがどの単元でも定位置に揃っており、児童が活動に見通しを持って進められるようレイアウトが工夫されている。 ○ 表紙はコーティングされた厚紙が使われており、製本は見開きやすく堅ろうである。また環境に負担の少ない用紙と植物油インキが用いられている。 | | | | | | |

| 種 目 | 生 活 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 6 1 啓林館 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 生 活 1 2 9 1 3 0 | 書 名 | わくわく せいかつ上 いきいき せいかつ下 |
|---|--|---|----------------|---|-----------------------|------------|--------------------------|
| 1 内 容 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 吹き出しや「めくり言葉」で、次の活動に向けた思いや願いが示されており、連続した学びの中で児童の深い学びを実現し、気付きの質が高まるよう工夫されている。 ○ 児童が互に関わり合う中で自分の考えを広めたり深めたりできるよう、協働的な学びの様子が写真や挿絵で具体的に示されている。 ○ 2年間の児童の成長やその発達の段階に見られる空間認識や時間認識などの認知の特性の違いを配慮した、身近な対象や学習材が取り上げられている。 ○ 「わくわくたいむ」や「びっくりずかん」、「がくしゅうずかん」等の資料が多数掲載されており、児童の主体的な活動や学習の発展を促すよう工夫されている。 ○ 学習内容に偏りがなく、多様性に配慮し、豊かな体験活動に導く資料が数多く掲載されている。 | | | | | | |
| 2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の発達の段階に考慮し、上巻は主として学校、下巻は地域の活動の場としている。また、季節に沿って単元が配列されており、児童の活動が広がり、深まる構成になっている。 ○ 児童が対象と直接関わる中で、資質・能力が育成されるように、学習指導要領生活編の九つの内容がバランスよく配置されている。 ○ 単元は、導入「わくわく」、主たる活動「いきいき」、振り返り「ぐんぐん」の3段階で構成され、基礎的・基本的な内容を段階的に定着できるよう工夫されている。 ○ 上下巻ともに、1年間で学習する適切な単元の内容・分量になっており、学びを広げたり、深めたりするための「がくしゅうずかん」などの資料も豊富である。 ○ 活動や学習対象、学習材、学習方法が複数提示されているため、その中から学校や児童の実態に合わせて広く選択できるようになっている。 | | | | | | |
| 3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ いずれの単元も3段階で構成され、前時の取組を生かしながら学習を進めていくことで、育成すべき資質・能力が身に付くよう配慮されている。 ○ 各単元の導入には、見開きで「わくわくタイム」が設けられており、児童の素朴な疑問や意欲を引き出し、主体的・対話的に学びを進められるよう工夫されている。 ○ 振り返りの場面に示されている「できるかなできたかな？」では、自分の学習進度を確認しながら振り返ることができるよう工夫されている。また、豊富な二次元コードにより個々の思いに沿った学びに対応できるよう多様な資料が示されている。 ○ 他教科との関連を図った学習活動の場面には「他教科マーク」を表示し、それぞれの教科と教科横断的に資質・能力を高められるよう工夫されている。 ○ 児童の学習意欲につながる写真・図表・挿絵・二次元コード等が適切に配置されている。 | | | | | | |
| 4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の指導に配慮し、上巻の前半は平仮名のみ、上巻の後半からは平仮名と片仮名、ルビが振られた各学年の配当漢字がそれぞれ使用されている。 ○ 活動の中で生まれた気付きや次の活動への思いや願いを「めくり言葉」として示し、児童が学びへの魅力を感じられるよう配慮されている。 ○ 本文では、国語科の指導に則した点画の正しい字形を保つUDフォントが採用され、色彩、印刷ともに鮮明である。 ○ 小単元、本文、コーナー、マークなどの位置は定位置に固定され、児童が落ち着いて学習に取り組めるように、レイアウトが工夫されている。 ○ 製本は開きやすく紙面が広く見えるよう配慮され、堅ろうなつくりになっている。また、印刷には環境やアレルギーに配慮した植物性インキが使用されている。 | | | | | | |

| 種 目 | 音 楽 | 発行者の 番号・ 略称 | 1 7 | 教科書 の記号・ 番号 | 音楽 1 0 3 2 0 3 3 0 3 4 0 3 5 0 3 6 0 3 | 書 名 | 小学音楽 おんがくのおくりもの 1 小学音楽 音楽のおくりもの 2 小学音楽 音楽のおくりもの 3 小学音楽 音楽のおくりもの 4 小学音楽 音楽のおくりもの 5 小学音楽 音楽のおくりもの 6 |
|-------------------------------|--|-------------------|-----|-------------------|--|--------|--|
| | | | 教出 | | | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 題材が系統性と発展性を持って組織されており、題材の目標を軸に適切な教材曲で構成されている。 ○ 学び合いについての示唆が随所に示され、協働的な学びを引き出すよう配慮されている。 ○ 学習意欲が高まるように、発達の段階に合わせてステップアップできるような表現活動を取り入れている。 ○ 幼・小・中の学びのつながりを意識した内容になっており、学習の充実と発展を図ることができるように工夫されている。 ○ 多様な楽曲や工夫して音楽づくりができる教材及び共通教材が組み込まれている。作詞者・作曲者・編曲者や演奏に関わる内容が明示されている。 | | | | | | |
| 2 組織と 配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 内容が組織的、系統的に配列され、資質・能力を育みながら学びが深まるよう配慮されている。 ○ 教科の目標と関連付けて題材のねらいが明示されている。各学年の目標を踏まえ、表現と鑑賞の関連が図られるようにまとめられている。 ○ 「音楽を形づくっている要素」を「音楽のもと」として見開きごとに示し、知識・技能の定着を図るとともに、発展的な学習ができるよう配慮されている。 ○ 主要教材と選択教材を組み合わせることにより、各校の実態に即した年間指導計画を作成できるようになっている。 ○ 「音楽ランド」等に多くの楽曲を掲載するとともに、各地の郷土芸能を紹介するなど、児童の生活や各地域の実態を考慮した教材の配列が工夫されている。 | | | | | | |
| 3 学習と 指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な知識・技能を習得させるために、巻末に「音楽のもと」「楽器図鑑」を掲載し、紙面の定位置に共通事項を示すことで児童が主体的に学習を進められるよう配慮されている。 ○ 「まなびナビ」のコーナーを設けることで、児童が自らの学習課題を明確にして取り組み、主体的・対話的に学びを深めることができるよう配慮されている。 ○ 学習内容が図やイラストで視覚的に伝わるように工夫されている。また、巻末資料は児童が既習事項を確かめながら学習に取り組めるよう配慮されている。 ○ 国語、算数、理科と関連する活動や、外国語に親しむ活動を取り入れるなど、他教科と関連して学ぶことができるよう配慮されている。 ○ 歌詞の内容に合わせた写真を折り込みで大きく提示するなどの工夫がなされている。ウェブページにつながる二次元コードが随所に示されている。 | | | | | | |
| 4 表現と 体裁等 に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習内容や活動の説明に発達の段階に合わせた分かりやすい表現が使われており、音楽用語等も正しく表記されている。 ○ 表紙は学年ごとに児童が出会う楽曲や楽器、音楽活動をモチーフとしてデザインされており、児童が音楽学習に親しみを持てるよう配慮されている。 ○ 書体や色づかいにユニバーサルデザインを取り入れ、見やすさや読みやすさに配慮されており、印刷も鮮明である。 ○ 歌詞の内容に忠実な写真が折込に大きく掲載されるなど、児童の学習活動に合わせた分かりやすい配置やレイアウトとなっている。 ○ 冊子の開きがよく、折り込み部分には十分な厚さの紙が使用されている。再生紙や植物油インキを使用し、環境への配慮がある。 | | | | | | |

| 種 目 | 音 楽 | 発行者の 番号・ 略称 | 2 7 | 教科書 の記号・ 番号 | 音楽 1 0 4 2 0 4 3 0 4 4 0 4 5 0 4 6 0 4 | 書 名 | 小学生のおんがく 1 小学生の音楽 2 小学生の音楽 3 小学生の音楽 4 小学生の音楽 5 小学生の音楽 6 |
|-------------------------------|---|-------------------|-----|-------------------|--|--------|--|
| | | | 教芸 | | | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 6年間を通して学習を積み重ねられるように、題材は系統的に構成され、学習のねらいが児童に分かりやすく示されている。 ○ 「考える」「見つける」等のアイコンで学び合いについての示唆を随所に示し、協働的な学びを引き出すよう配慮されている。 ○ 心身の発達の段階に合わせた教材を配置し、無理なくステップアップできるような表現活動を取り入れるなど、学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 題材に適した教材を精選し、ねらいに沿ってバランスよく教材を配置することで、学習の充実と発展を図っている。 ○ 多様な楽曲や工夫して音楽づくりができる教材及び共通教材が組み込まれている。作詞者・作曲者・編曲者や演奏に関わる内容が明示されている。 | | | | | | |
| 2 組織と 配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 表現と鑑賞の活動を関連させながら、児童が学んだことを活用し、資質・能力を高められるよう題材が構成されている。 ○ 題材ごとのまとまりが分かりやすく、ねらいや学習内容が明確に示されている。表現と鑑賞の活動が各学年の目標を踏まえた内容となるようにまとめられている。 ○ 各題材と巻末に振り返りのページを設け、基礎的・基本的な内容の定着を図るとともに、「チャレンジ」のコーナーでは発展的な学習ができるよう配慮されている。 ○ 題材、教材の分量及びバランスは、各学年の授業時数に配慮したものとなっており、題材のねらいに則して教材や学習活動の分量を弾力的に扱えるようになっている。 ○ 身近な音や音楽にまつわる話を取り上げたり、小学生が郷土芸能を受け継ぐ写真を掲載したりするなど、児童の生活や各地域の実態を考慮した教材が配列されている。 | | | | | | |
| 3 学習と 指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習のめあてを示すアイコンや、演奏技法の具体的な図解資料等を掲載することで、児童が主体的に音楽活動に取り組むことができるよう配慮されている。 ○ キャラクターによる吹き出しが学習活動の方法やヒント、参考資料となるように工夫されており、児童が主体的・対話的に学びを深める手立てとなっている。 ○ 多様な個性や能力に対応した様々なリズムあそびや音あそび、音楽づくりを教材として取り上げるとともに、児童が楽器や演奏形態を選択できるよう配慮されている。 ○ 調べ学習や英語の歌、日本の古典芸能等が適切に配置され、他教科との関連が図られている。 ○ 巻頭に「学習マップ」が掲載され、1年間の学習の手引きとして活用できるようになっている。また、二次元コードの資料が豊富に提示されている。 | | | | | | |
| 4 表現と 体裁等 に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 活動の説明や問いの提示、挿絵や写真のバランス等、児童の発達の段階に応じた表現がなされており、音楽用語も正しく表記されている。 ○ 協働しながら音楽を学ぶ様子が表紙に描かれたり、ねらいや内容に即した写真やインタビュー資料が配置されたりするなど、児童が親しみや魅力を感じられるよう配慮されている。 ○ 文字の大きさや字体の他、囲みの色や形、記号などが工夫され、見やすいデザインになっている。 ○ 児童の学習活動に合わせた配置やレイアウトとなっており、統一感がある。 ○ 冊子の開きがよく、使用頻度に応じた紙の厚さになっている。再生紙や植物性インキを使用しており、環境への配慮がある。 | | | | | | |

| 種 目 | 図画工作 | 発行者の 番号・略称 | 9 | 教科書の 記号・番号 | 図工 105 106 305 306 505 506 | 書 名 | ずがこうさく1・2上 わくわくするね ずがこうさく1・2下 みつけたよ 図画工作3・4上 できたらいいな 図画工作3・4下 力を合わせて 図画工作5・6上 心をひらいて 図画工作5・6下 つながる思い |
|---------------------------|---|---------------|-----|---------------|--|--------|---|
| | | | 開隆堂 | | | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 題材ごとに、資質・能力に関わる三つの目標の一つを中心的な目標として強調して示すとともに、写真やイラストを活用し表現と鑑賞の活動を深める工夫がされている。 ○ 材料の生かし方等の具体例を示し、発想や構想が広げられるような働き掛けを工夫するとともに、言語活動を重視し協働で行うことを意図する題材を多く設定している。 ○ 「学びの資料」で、材料や用具の安全な使い方や端末の活用法、発想の方法、振り返りの仕方等を示し、発達の段階や実態に応じて学習意欲を高める工夫がされている。 ○ 1年間の学習の領域と題材名を写真で示し、見通しを持って活動できるようにしている。学んだ資質・能力を生かせるよう関連する内容を前後に配する工夫も見られる。 ○ 各題材の中心的な目標に合わせて、バランスよく作品例と活動写真が掲載されている。掲載している美術作品については、作者や作品名等が明記されている。 | | | | | | |
| 2 組織と配 列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な材料を使った題材から始まり、幼保小中の接続を意識して段階的に学習を深めていくことができるように題材が系統的に配列されている。 ○ 教科の目標を踏まえ、学習の目標と活動の振り返りが題材ごとに見開きでまとめられている。学習の目標と内容、育てたい力との関連が明確に示されている。 ○ 制作した作品が新たな活動を促す契機となるように題材が配列されているとともに、基礎的・基本的な技法や材料、用具の知識が系統的にまとめられている。 ○ 発達の段階に応じて、題材や内容の分量がバランスよく構成されており、各学校の年間指導計画や学習環境に広く適合させることができるように配慮されている。 ○ 1年間の流れに沿って教材が配列されており、児童の状況に合わせて題材を選択したり、自分の地域と結び付けて学習したりできるように配慮されている。 | | | | | | |
| 3 学習と指 導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 三つの資質・能力に沿った学習の目標と振り返りを併せて明示し、基礎的・基本的な知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成ができるよう配慮されている。 ○ 育成したい三つの資質・能力に対応したキャラクターを登場させ、具体的なアドバイスを投げ掛けることで、児童の主体的・対話的な活動へ導くよう配慮されている。 ○ 発達の段階に応じた材料や用具に関する創造的な技能、造形的な見方等が具体的に示されており、表現活動において自主的な活動に広げられるよう配慮されている。 ○ 「あわせて学ぼう」として他教科等との関連を図り、教科名とともに具体的な活動を想起させる文章を示し、教科横断的な学習の手立てとなるよう配慮されている。 ○ 各題材において、写真やコメントで活動の過程が分かりやすく示されている。二次元コードを活用し、児童が必要な知識・技能の定着が図れるように工夫されている。 | | | | | | |
| 4 表現と体 裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 題材名とともに題材内容をイメージしやすいリード文が示されている。作品のコメントには、材料や技法の工夫点や作者の意図が伝わるよう表現している。 ○ 三つのキャラクターマークを活用し、目標を分かりやすく示すとともに、書名の題字を題材で扱う材料を用いて表すなど、児童が親しみを持てる工夫がされている。 ○ UDフォントを使用し、発達の段階に応じて文字の大きさを変えている。児童が識別しやすいように配色や形状、コントラストに配慮がなされている。 ○ 各題材を見開きで示し、「学習のめあて」「活動を促すリード文」等の配置が一定しており、児童が見通しを持って活動できるようレイアウトが工夫されている。 ○ ミシン穴の無いアジロ綴じと見返し加工により、開きやすく安定した製本になっている。人体への影響が少ない植物性のインクや環境に配慮がある用紙を使用している。 | | | | | | |

| 種 目 | 図画工作 | 発行者の 番号・略称 | 116 | 教科書の 記号・番号 | 図工 107 108 307 308 507 508 | 書 名 | ずがこうさく1・2上 まるごと たのしもう ずがこうさく1・2下 まるごと たのしもう 図画工作3・4上 ためす 見つける 図画工作3・4下 ためす 見つける 図画工作5・6上 わたしとひびき合う 図画工作5・6下 わたしとひびき合う |
|-------------------------------|---|---------------|-----|---------------|--|--------|--|
| | | | 日文 | | | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 表現の活動においても互いの作品を見合うなど、鑑賞している情景写真を掲載し、各題材において、表現と鑑賞が一体的に学習できるように配慮されている。 ○ 「特に大切なめあてのヒント」と「鑑賞のヒント」には、造形的な見方・考え方を働かせることを促す具体的な働き掛けがあるなど、学びを深めるよう工夫されている。 ○ 基本的な使い方やポイントを分かりやすいイラストや写真で示し、発達の段階に応じて学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ○ 行事や季節に応じて題材を選択できる内容にしたり、「教科書美術館」を関連する題材と連続して配置したりするなど、学習の充実と発展を図るよう工夫されている。 ○ 活動写真と関わらせ作品例を多く取り上げている。領域、作品、性別に偏りもない。掲載されている美術作品については、作者や作品名等が明記されている。 | | | | | | |
| 2 組織と 配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 幼保小中を通した児童の成長に寄り添い、幼児期との接続ページから中学校との接続ページまで、発達の段階に応じて学びを深められるよう系統性に配慮されている。 ○ 教科の目標を踏まえた学習のめあてと活動の振り返りが全ての題材に設定され、資質・能力の三つの柱の育成が実現できるよう工夫されている。 ○ 「材料と用具のひきだし」で、基礎的・基本的な内容の定着を図り、さらに多様な表し方を示すことで、発展的な表現に触れることができるよう配慮されている。 ○ 活動内容や場所、材料等の事例が豊富に示され、各学校の年間指導計画や学習環境に広く適合させることができるよう配慮されている。 ○ 1年間の学習の流れに沿って教材が配列されており、児童の状況に合わせて題材を選択したり、自分の地域と結び付けて学習したりできるよう配慮されている。 | | | | | | |
| 3 学習と 指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書の使い方や学習の進め方を示すことによって、児童が主体的に学習に取り組み、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されている。 ○ 活動の見通しと振り返り、表現と鑑賞を関連させる問いが示されており、主体的・対話的な活動を実践するための工夫がなされている。 ○ 児童が自ら学習記録を残したり、振り返ったりしながら学習の進め方を考えられるよう促すなど、指導の個別化が図られるよう工夫されている。 ○ 「つながる学び」マークで、題材と他教科等との関連が分かりやすいように示し、教科横断的な学習の手立てになるよう配慮されている。 ○ 自然材の利用や材料の再利用等、材料の有効利用や環境保全に配慮されている。用具の基本的な扱い方について、二次元コードから動画で確認できるようになっている。 | | | | | | |
| 4 表現と 体裁等 に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 題材名の下に導入の言葉を示し、各学年の発達の段階を考慮しながら、児童の興味・関心を引き出し、イメージを広げることができるよう配慮されている。 ○ 低・中・高学年でテーマが設定され、そのテーマに沿った表現を楽しむ姿が示されていることで、活動への期待感や意欲を持たせるよう配慮されている。 ○ 学年に合わせて文字の大きさが調整され、コントラストや文字の背景色などカラーユニバーサルデザインに配慮がなされている。 ○ 活動の全体が分かる写真のレイアウトや、作品図版の一部を拡大掲載するなど、見通しを持って活動したり作品製作の参考にしたりできるよう工夫されている。 ○ 無線綴じと見返し加工により、強度がある製本になっている。再生紙や植物性インクを使うことで、環境への配慮がある。 | | | | | | |

| 種 目 | 家 庭 | 発行者の番号・略称 | 2 | 教科書の記号・番号 | 家 庭 5 0 3 | 書 名 | 新編 新しい家庭 5・6 私がつくる みんなでつくる 明日をつくる |
|-----------------------|--|-----------|----|-----------|--------------|--------|---|
| | | | 東書 | | | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育み、深い学びが実現できるよう「家庭科の窓」を設置し、生活の営みに係る見方・考え方を意識した学習内容になっている。 ○ 2年間を見通した内容相互の関連を図るとともに、中学校の内容との系統性を踏まえた内容となっている。 ○ 実習題材は、児童の発達の段階に配慮した取り組みやすい題材を扱い、実践的・体験的に楽しく学びながら、学習意欲を高めるように工夫されている。 ○ 学習の充実を図ることができるよう、「活動 深めよう」を設けている。また、2年間の学習を記録する「成長の記録」や「生活を変えるチャンス！」で、学んだことが家庭での実践につながるよう工夫されている。 ○ 学習内容に偏りがなく、内容に広がりを持たせる資料があり、その出所、出典が明示されている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な内容から応用へと児童の発達の段階に応じて系統的に配列されている。基礎的な技能の多くを5学年で学習できる配分とし、6学年でより確実な定着を図るよう配慮されている。 ○ 大題材を「課題発見」、「課題解決・実践活動」、「評価・改善」の3ステップで展開し、ステップごとの学習のめあてが、タイトル下に示されている。 ○ 全ての小題材に「めあて」、「ふり返ろう」が設けられ、こまめに学習を振り返ることにより、学習内容が定着し、次の学習への意欲を高めるよう配慮されている。 ○ 地域や学校の実態に応じた指導ができるよう、活動例や実習例が複数示されており、題材を選択して指導ができるように配慮されている。 ○ 大題材の配列を組み替えることで、地域や学校の実態に応じた指導ができるようになっている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「いつも確かめよう」や動画コンテンツで基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図り、3ステップの問題解決的な学習によって、思考力・判断力・表現力等を育むよう配慮されている。 ○ 「活動」に「話し合おう」「深めよう」を設けることで、主体的・対話的で深い学びを実現するための工夫がされている。 ○ ユニバーサルデザインを用いて、だれも見やすい工夫がされており、児童の多様な個性や能力に広く対応している。また、思考ツールや動画で自己の学びを調整しながら学習できるよう配慮されている。 ○ 「関連マーク」で、他教科や中学校の内容との関連を図ることができるよう配慮されている。 ○ 段階ごとの学習に合わせた二次元コードが適切に配置されている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 内容が理解できるタイトルや学習の流れを示し、学習の見通しが立てられるようにするための工夫が見られる。また、5学年以降で学習する常用漢字には、振り仮名が付けられるなど発達年齢に応じている。 ○ イラストや写真、レイアウトの工夫により、児童が興味を持てるようなつくりとなっている。また、子供のキャラクターが登場し、児童が親しみを持って学習できるように配慮されている。 ○ 字形を判別しやすく、読み間違いにくい字体である。また、印刷が鮮明で罫線や背景の色など、色覚の多様性に配慮されている。 ○ 図や表は色だけでなく模様によって識別できるよう工夫され、活動内容の資料は見開きで構成するなど、児童が学習の中で活用しやすいレイアウトとなっている。 ○ 見開きの状態を保ちやすい製本となっている。持ち運びも含めた2年間の使用に耐えうる堅ろうな製本であり、環境に配慮した再生紙や植物性インキを使用している。 | | | | | | |

| 種 目 | 家 庭 | 発行者の番号・略称 | 9 | 教科書の記号・番号 | 家庭 504 | 書 名 | わたしたちの家庭科 5・6 |
|-----------------------|--|-----------|-----|-----------|-----------|--------|---------------|
| | | | 開隆堂 | | | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 生活の営みに係る見方・考え方を働かせるため、各題材の「協力」「健康・快適・安全」「生活文化」「持続可能な社会」の四つの視点を適切に明示している。 ○ 内容相互の関連を図りながら題材設定がされているとともに、中学校での学習を提示するなど、つながりを意識させる内容となっている。 ○ 発達の段階を考慮し、5学年ではスモールステップで基礎・基本を学習し、6学年では5学年で学習した内容を生かせるよう工夫されている。 ○ 内容がよく精選され、実践の具体例を手掛かりに、自分の「生活の課題と実せん」につなげるなど、学習の発展を図る工夫がされている。 ○ 学習内容に偏りがなく、児童が活用しやすい資料が提示されており、その出所、出典が明確である。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な内容の習得から応用・発展的な学習へと系統的に展開され、児童の思考の流れに沿って学習を進めることができるように配慮されている。 ○ 各題材が「学習のめあて」で始まり、課題解決型学習を通して創意工夫する力を養う「生かす・深める」の活動が設定されているなど、家庭での実践につなげるよう工夫されている。 ○ 各題材の学習過程で「できたかな」チェックを取り入れており、児童が主体的に無理なく学習を進めることができるよう配慮がされている。 ○ 各学年の題材内容の分量が適切に配列されている。また、各学校の年間指導計画に柔軟に対応できる内容となっている。 ○ 題材が細かく区切られており、地域や学校の実態に応じて題材を組み替えて指導できるよう工夫されている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 導入で「なぜ～だろう」と自分の生活を振り返ることで、主体的に学ぼうとする意欲を高め、思考力・判断力・表現力等が育まれるように配慮されている。 ○ 題材の導入で、写真やイラストから気付きや課題を見付けられるようにするなど、主体的・対話的で深い学びを促す工夫がされている。 ○ 様々な年代や国籍の人々を登場させて共生の視点に気付かせたり、動画を充実させて児童が自己の学びを調整しながら学習したりできるよう配慮されている。 ○ 防災、キャリア教育、SDGs、伝統文化等についての内容が記載されており、他教科や総合的な学習の時間等との関連に配慮されている。 ○ 課題解決の手掛かりとなる例示や写真、図表、イラスト、二次元コード等が過不足なく適切に配置されている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 実習や製作の手順が明確であり、資料は囲みや色分けで容易に区別できるように工夫するなど配慮されている。 ○ 子供のつぶやきや案内役のキャラクターを適所で活用し、児童と同じ目線で語り掛けたり気付きを促したりするなど、興味・関心が持てるように配慮されている。 ○ 印刷は鮮明で、UDフォントを使用し、一つの単語が行をまたがらないよう調整するなど配慮されている。 ○ 調理や製作等の手順は全て横への流れで統一され、全体の流れがつかみやすい配置である。また、写真、イラスト、動画等の必要な資料も充実している。 ○ 製本は堅ろうで表紙は水に強い加工がされており、2年間の使用にも十分耐えうるものとなっている。また、環境に配慮した用紙やインキを使用している。 | | | | | | |

| 種 目 | 保 健 | 発行者の 番号・略称 | 2 | 教科書の 記号・番号 | 保 健 3 0 6 5 0 6 | 書 名 | 新編 新しいほけん 3・4 新編 新しい保健 5・6 |
|-------------------------------|--|---------------|----|---------------|-----------------------|--------|-------------------------------|
| | | | 東書 | | | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に則り、児童が主体的に学習することができるよう、「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」という四つの段階の学習活動が設定されている。 ○ 健康について関心を持たせ、健康的な生活習慣の形成に結び付くように、課題を解決する学習活動の流れが構成されている。 ○ 児童の学習意欲を高めるために、実生活を想起して考えられるイラストや健康的な課題に関する写真、アスリートの実体験等が記載された資料が豊富に掲載されている。 ○ 各章ごとに内容が精選され、健康についての課題を自分ごととして考えられるよう配慮されている。 ○ 「調べる・解決する」学習活動の資料や発展的な資料として、「事故等による死者数のグラフ」や「日本人の死因の内訳のグラフ」「感染症の拡大状況を報じる新聞記事」など、今日的課題に対応した資料が各項ごとに配置され、出典も明示されている。 | | | | | | |
| 2 組織と 配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 保健領域の健康に関する内容が、学年に応じて系統的に配列されており、段階的に学べるよう配慮されている。 ○ 児童に見通しを持たせるために、各章の始めりに目標を達成するための道筋と学習内容が視覚的に分かりやすく配列され、ねらいが明確に示されている。 ○ 重要語句は太字で示されており、健康についての知識を身に付けられるような内容となっている。また、1単位時間を構成しているページの終末には、発展的な内容の資料があり、児童の多様な個性や実態に応じた学びができるよう配慮されている。 ○ 学習内容が系統的に配列されている。各学校の年間指導計画に広く適合し、扱いやすい内容及び分量となっている。 ○ 児童の実生活や地域の実態に広く対応できるよう教材が配列されている。 | | | | | | |
| 3 学習と 指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 健康に関する課題の解決に向けて、知識を得たり調べたりする活動と、それらを基に伝え合ったり話し合ったりする活動が設定されている。 ○ 児童の気付きを生かして課題を設定し、調べ学習を行い、児童の言葉で学びをまとめる構成となっており、児童が主体的に学習できるよう配慮されている。 ○ 各章ごとに資料コーナーや二次元コードが配置され、一人一人の学習を補完したり発展的に学んだりできるよう配慮されている。 ○ 「家の中や近くでできる運動の例」や「地域の健康や安全を守る活動に取り組む人々の資料」など、他教科・他領域の学習と関連を図ることができるよう配慮されている。 ○ 動画やシミュレーション映像など、児童の学びを広げ、深められるようなデジタルコンテンツが豊富であり、メニューや配列も見やすく配慮されている。 | | | | | | |
| 4 表現と 体裁等 に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 表記や表現については、各学年の発達の段階に対応しており、未習の漢字や健康に関する専門用語等には、振り仮名が付けられている。 ○ 児童が親しみやすく、意欲を持って学べるように、イラストや写真、マーク等が豊富に掲載されている。 ○ ユニバーサルデザインの観点から、書体は独自に開発したUD教科書体となっており、従来の教科書体に比べて太く、見やすいものになっている。 ○ 1単位時間を4ページで構成し、イラストや写真が大きく配置され、児童が見やすいものになっている。 ○ 表紙、本文ともに、再生紙が原料とされ、印刷には植物油インキが使用されている。また、製本は体裁がよく、堅ろうである。 | | | | | | |

| 種 目 | 保 健 | 発行者の番号・略称 | 4 | 教科書の記号・番号 | 保 健 3 0 7 5 0 7 | 書 名 | 新版 たのしいほけん 3・4年 新版 たのしい保健 5・6年 |
|-------------------------------|--|-----------|-----|-----------|-----------------------|--------|-----------------------------------|
| | | | 大日本 | | | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現するために、日常の体を動かす場面や発育・発達に必要な運動例を示すなど、保健と運動の関連を図るよう工夫されている。 ○ 自分の生活と比較、関連付けるなど、健康や安全に関する課題を解決する学習活動を取り入れ、思考・判断し、対話や記述で表現できるよう工夫されている。 ○ 単元のはじめに、心の健康や病気の予防のために日常のなかで行うことができる簡単な運動やチャート等を掲載し、児童が学習内容に興味・関心を持ち、学習活動に主体的に取り組めるよう工夫されている。 ○ 学習内容の系統性、領域のバランス、他教科との連携を総合的に考え、適切な単元配列を組むなど、学習の充実と発展を図るよう工夫されている。 ○ 学習指導要領を踏まえながら、内容、資料とも偏りなく構成され、今日的課題に関する資料についても豊富に取り上げ、出所、出典も明記されている。 | | | | | | |
| 2 組織と 配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目次には各学年の学習内容が示されており、各単元が系統的に配列されている。また、各学年の各教科等と関連付けながら学習できるよう配慮されている。 ○ 「見つける」「考える・やってみる」「まとめる」「広げる・深める」の流れで学習活動が構成されており、児童が見通しを持って学習できるよう工夫されている。 ○ 各単元の終末に「まとめ」が設定され、基礎的・基本的な内容を確実に身に付けられるよう配慮され、発展的な学習ができるよう工夫されている。 ○ 1単位時間が見開きを基本として構成されている。学年に応じ、精選した内容及び分量にしており、各学校の年間指導計画に広く適合できる。 ○ 単元の終末に「家・地いきでほけん」のコーナーが設定され、保健の見方・考え方を働かせながら、実生活と関連付けて学ぶことができるよう配慮されている。 | | | | | | |
| 3 学習と 指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「考えよう」「話し合おう」「調べよう」などの活動を設定し、児童が協働して学ぶことを通して、思考・判断・表現したり、深く学んだりできるよう工夫されている。 ○ 自ら課題を発見し課題解決するための「つかもう」の時間が設定され、主体的に課題を設定し、課題解決に向け思考錯誤し、思考を深めていくための工夫が見られる。 ○ 「専門家キャラクターの解説」「ミニちしき」「学習の助けとなる資料『もっと知りたい!』」など、児童の興味・関心に応じ発展的に学習できるよう工夫されている。 ○ 保健領域の系統性や他教科との関連が一目で分かるようにマークで示すなどの配慮がなされている。 ○ 必要な挿絵や図表が効果的に配置されている。また、デジタルコンテンツを豊富に用意しており、二次元コードから利用できるよう配慮されている。 | | | | | | |
| 4 表現と 体裁等 に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年に応じた文章表現がなされており、児童が迷いなく読み進められるように振り仮名も適切に振られている。また、重要事項を簡潔に記載している。 ○ イラストや写真、図表等は、児童が興味を持って学習課題の解決に取り組むことができるよう配慮されている。 ○ 文字の大きさや字体、色彩はユニバーサルデザインに配慮し、児童が読みやすいよう工夫されている。 ○ 写真や図表が豊富に掲載されているとともに、統一されたレイアウトで1単位時間の内容が構成されており、児童が迷いなく学習に取り組めるよう配慮されている。 ○ 環境に配慮した紙と植物インキが使用され、表紙は丈夫で汚れにくい加工となっている。 | | | | | | |

| 種 目 | 保 健 | 発行者の番号・略称 | 5 0 | 教科書の記号・番号 | 保 健 3 0 8 5 0 8 | 書 名 | 新 小学校ほけん 3・4年 新 小学校保健 5・6年 |
|-----------------------|---|-----------|-----|-----------|-----------------------|--------|-------------------------------|
| | | | 大修館 | | | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の目標を踏まえて、児童の生活経験の中から健康や安全に関する課題を見付け、解決に向けて考え、話し合いながら理解を深められるようになっている。 ○ 健康や安全に関する課題が毎時間明記されており、学習の終末で、より健康的な生活を送るために児童自身が考えたことを記述できるよう工夫されている。 ○ 導入では児童の生活経験を想起させ、健康や安全に関する課題を発見しやすいように構成し、学習の見通しを持ちながら主体的に取り組めるよう工夫されている。 ○ 1単位時間が「健康に関する課題をつかむ」、「解決のための活動を行う」、「学習のまとめを行う」という三つの段階で構成されており、発展的な資料も充実している。 ○ 内容、資料ともに偏りはなく、資料は官公庁などの信頼性のあるものを取り上げ、出所、出典も明記されている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 既習の保健の学習との関連が記載されており、系統的に学習できるようになっている。また、「体育の窓」コーナーが設置され、運動領域との関連にも配慮されている。 ○ 1単位時間のねらいが「きょうの課題」として明確に示され、資料やイラストを使い、学習内容が簡潔にまとめられている。 ○ 重要語句が太字で示されるなど、基礎的・基本的な内容が身に付けられるよう工夫されている。各章に発展的な資料が取り上げられており、児童の実態に合わせた配慮がなされている。 ○ 1単位時間を見開きで学習する構成となっており、学習指導要領の配当数内で指導できるよう配慮されているため、各校の年間指導計画に適合できる内容である。 ○ 児童の発達に合わせた教材の配列となっており、健康に関する一般的な事例を取り上げているため、児童の生活や各地域の実態にも柔軟に適合できる内容である。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 本文の記述やデジタルコンテンツなどで知識・技能を習得させるとともに、記述欄により、思考・判断したことを表現できるよう配慮されている。また、主体的に学習を進められるよう、1単位時間の課題が明記されている。 ○ 著名人の対談やキャラクターの対話を通して、興味・関心を持てるよう配慮されている。また、友達と考えを交流し合うなどの対話的な活動が豊富に設定されている。 ○ 多角的な視点から、個人差や多様性、共生への理解が深まるよう配慮されている。また、終末では自分の生活を見直し、学習内容を振り返る活動を設定している。 ○ 各教科との関連をマークで示し、教科横断的な学習ができるよう配慮されている。防災の学習もあり、総合的な学習の時間とも関連させて学習することができる。 ○ 手引き、挿絵、図表、写真等は適切に配置されている。また、随所に二次元コードが掲載されており、デジタルコンテンツも使用できるよう配慮されている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 該当学年までに配当された漢字が使われ、未習の漢字や専門用語には振り仮名が付けられている。また、単語や文節が行をまたがないよう改行位置に配慮されている。 ○ キャラクターが用語の解説をしたり、多角的な視点を与えたりするなど、児童が親しみを持ちやすいよう工夫されている。 ○ UDフォントを採用したり、重要語句を太字にしたりと、児童が読みやすいよう配慮されている。また、色彩はユニバーサルデザインに配慮がなされている。 ○ 学習事項に即した図表が効果的に配置され、学習理解を促すものとなっている。 ○ 用紙は再生紙や植物油インキが使用され、環境に配慮されている。また、2年間の使用に耐えうるとじ方で、表面は強度を高め、汚れを防ぐ加工がされている。 | | | | | | |

| 種 目 | 保 健 | 発行者の 番号・略称 | 207 | 教科書の 記号・番号 | 保 健 309 509 | 書 名 | 新わたしたちのほけん 3・4年 新わたしたちの保健 5・6年 |
|-------------------------------|---|---------------|-----|---------------|-------------------|--------|-----------------------------------|
| | | | 文教社 | | | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の目標を踏まえて、児童自身の生活経験の中から健康や安全に関する課題を見付け、解決に向けて考え、理解したことを基に実践できるようになっている。 ○ 健康や安全に関する課題が児童の視点で記載されており、各時間の終末には、より健康的な生活を送るために実践していくことを記述できるよう工夫されている。 ○ 各単元のはじめには見開きのページを使い、単元の目標と学習内容を視覚的に示すことで、児童が健康に興味を持って学習を進められるよう配慮されている。 ○ 1単位時間が、「理解する」、「考える」、「実践へとつなげる」という三つの段階で構成されており、発展的な資料も各単元に掲載されている。 ○ 内容、資料ともに偏りはなく、資料は官公庁等に基づく信頼性のあるものを取り上げ、出所、出典も明記されている。 | | | | | | |
| 2 組織と 配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 既習の保健の学習との関連が記載されており、系統的な指導ができるようになっている。また、随所に運動領域との関連が掲載され、心と体の密接な関係が理解できるよう配慮されている。 ○ 1単位時間のねらいが「学習のめあて」として明確に示され、児童が見通しを持って学習できるようになっており、内容も生活場面を基に簡潔にまとめられている。 ○ 重要語句が太字で強調されるなど、基礎的・基本的な内容を身に付けられるよう配慮されている。また、発展的な資料として今日的課題を取り上げることで、児童の実態に応じた学習ができるよう工夫されている。 ○ 学習指導要領で示された配当授業時数内で指導可能であるため、各校の年間指導計画に適合できる内容及び分量となっている。 ○ 児童の発達に合わせた教材の配列となっており、健康に関する一般的な事例を取り上げているため、児童の生活や各地域の実態にも柔軟に適合できる内容である。 | | | | | | |
| 3 学習と 指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習内容を「Mission」として明確に示し、主体的に学習を進め、知識・技能を習得するとともに、実生活での実践に向けて考えを記述できるよう配慮されている。 ○ 導入では、児童にとって身近な生活場面が設定されており、友達との対話を通して、興味・関心を持って学習に取り組めるよう工夫されている。 ○ キャラクターのせりふを生かし多角的に学習できるよう配慮されている。また、終末では、児童が今後の生活で心掛けたいことを考えるための記入欄が設けられている。 ○ 「地域の保健活動」や「他者に寄り添う大切さ」の資料など、他教科・他領域と関連させて学習ができるよう配慮されている。 ○ 手引き、挿絵、図表、写真等は適切に配置されている。また、随所に二次元コードが掲載されており、デジタルコンテンツを使用して学習できるよう配慮されている。 | | | | | | |
| 4 表現と 体裁等 に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 該当学年までに配当された漢字が使われ、未習の漢字には振り仮名が付けられている。また、文章表現は簡潔で分かりやすい。 ○ 子供のキャラクターが児童の立場から疑問や意見を述べ、担任や養護教諭のキャラクターが解説をするなど、児童が親しみを持って学習できるよう配慮されている。 ○ 文字の大きさや字体を用途によって変えたり、重要語句を太字にしたりするなど見やすい工夫がされている。また、色彩はユニバーサルデザインに配慮されている。 ○ 学習事項に即した図表が効果的に配置され、学習理解を促すものとなっている。 ○ 用紙は森林認証紙や環境に配慮したインキを使用している。また、表紙には特殊な加工がされており、2年間の使用に耐えうるものとなっている。 | | | | | | |

| 種 目 | 保 健 | 発行者の 番号・略称 | 208 | 教科書の 記号・番号 | 保 健 310 510 | 書 名 | 小学ほけん 3・4年 小学保健 5・6年 |
|-------------------------------|--|---------------|-----|---------------|-------------------|--------|-------------------------|
| | | | 光文 | | | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 健康や安全について課題を見付け、その解決を目指した学習活動を展開していくために、各章ごとに内容が分かりやすく示され、1単位時間の学習の流れが五つの段階で構成されている。 ○ 生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成するために、健康と運動の関連を重視した内容となっており、保健領域と関連して、運動や遊びの例も示されている。 ○ 児童の意欲を高めるために、表紙や扉絵に、彩色豊かなイラストが掲載されている。また、実生活を想起して考えられるようなイラストや写真等が掲載されている。 ○ 家庭や地域に関連して調べる活動が設定されており、実生活を見直したり、地域の保健活動について考えたりすることができるようになっている。 ○ 「調べる・解決する」学習場面の資料や発展的な資料として、「小学生が犯罪被害にあった場所のグラフ」や「日本人の死因の変化のグラフ」等の今日的課題に対応した資料が各項ごとに配置され、出典も明示されている。 | | | | | | |
| 2 組織と 配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に沿って内容が配列されるとともに、他学年の内容や運動領域との関連も図られており、児童が系統的に学べるよう配慮されている。 ○ 各章ごとにねらいが明確で内容にまとまりがある。また、児童に意欲と見通しを持たせるために、各章の始まりに、健康に関する事象について問い掛ける言葉が入ったイラストが配置されている。 ○ 健康についての知識を身に付けられるような内容となっており、重要語句は太字で示されている。また、各章ごとに、発展的な内容の資料が記載され、児童の多様な個性や実態に応じた学びができるよう配慮されている。 ○ 1単位時間を見開きで学習する構成となっている。また、各学校の年間指導計画に広く適合できる内容及び分量となっている。 ○ 児童の実生活や地域の実態に広く対応できるよう教材が配列されている。 | | | | | | |
| 3 学習と 指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 知識・技能の習得と、それらを活用する学習が位置付けられており、問題解決的な学習の流れで構成されている。 ○ 導入部分にある写真やイラストが、児童の興味や関心を引き、気付きを促すようなものになっている。また、それらの気付きを生かして課題を設定する構成となっており、児童が主体的に学習できるよう配慮されている。 ○ 児童の理解を促し学習効果を高めるため、各章ごとに二次元コードが配置され、児童一人一人の学習を補完したり、発展的な内容を学んだりできるよう配慮されている。 ○ 「運動や遊びの例」や「感染症に関する差別をなくすための資料」など、他教科・他領域の学習と関連を図ることができるよう配慮されている。 ○ 動画やアニメーションなど、児童の学びを広げ、深められるようなデジタルコンテンツが用意され、各章や学習内容ごとに見やすく配列されている。 | | | | | | |
| 4 表現と 体裁等 に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 表記や表現については、各学年の発達の段階に対応しており、未習の漢字や健康に関する専門用語等には、振り仮名が付けられている。 ○ 児童が親しみやすく意欲を持って学べるように、彩色豊かなイラストや写真、マーク等が豊富に掲載されている。 ○ 全ての文字にUDフォントが用いられ、どの児童にも見やすいものとなっている。 ○ 1単位時間を見開きで学習する構成となっており、イラストや写真が簡潔に配置され、児童が扱いやすいものとなっている。 ○ 製本は軽量化を図りながらも、堅ろう性が高められている。表紙、本文ともに、環境に配慮した紙が使用され、印刷には植物油インキが使用されている。 | | | | | | |

| 種 目 | 保 健 | 発行者の 番号・略称 | 2 2 4 | 教科書の 記号・番号 | 保 健 3 1 1 5 1 1 | 書 名 | 新・みんなのほけん 3・4年 新・みんなの保健 5・6年 |
|-------------------------------|--|---------------|-------|---------------|-----------------------|--------|---------------------------------|
| | | | 学研 | | | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が生涯にわたって正しい健康情報を選択したり、健康や安全に関する課題を適切に解決したりできるよう、児童自ら学習を進められる内容で構成されている。 ○ 「思春期に起こる心や体の変化」や「いじめ」「生活習慣病」など、健康や安全に関する今日的課題を豊富に掲載し、健康や安全に関心を持てるよう工夫がなされている。 ○ 「かがくの目」や「ほけんのはこ」など、興味・関心を高め、科学的な理解に結び付けたり、学びを広げたり、深めたりする資料等を掲載する工夫がなされている。 ○ 学習指導要領に基づき、適切に内容を取り上げ構成されている。発展的な学習内容についても記述されており、学習が更に充実するよう配慮されている。 ○ 学習指導要領を踏まえながら、内容、資料とも偏りなく構成されており、出所、出典も明記されている。 | | | | | | |
| 2 組織と 配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に基づき、内容が組織的、系統的に配列されている。「つなぐ」を通して、運動領域の関連を図りながら学習できるよう配慮されている。 ○ 「授業の導入」「学習課題の確認」「三つの段階」の流れで学習活動が構成されており、児童が健康や安全についての学びを自ら進めていくことができるよう配慮されている。 ○ 各単元の終末に「ふり返る」「伝える」「つなぐ」ページが設定されており、学習内容を想起することで、基礎的・基本的な内容を確実に定着させるよう工夫されている。 ○ 1単位時間が見開きを基本として構成されている。配当時数内で指導できる内容及び分量となっていて、各学校の年間指導計画に広く適合できるよう工夫されている。 ○ 学習したことを基に、家庭や地域と連携できるように、「おうちで」「ちいきで」のマークを示し、児童が健康や安全等を意識して取り組めるよう工夫されている。 | | | | | | |
| 3 学習と 指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「自分で考える」「友達やみんなと考える」「身に付けたことを生かす」という学習の流れを繰り返すことで、基礎的・基本的な内容を理解し、思考力・判断力・表現力を身に付ける工夫がなされている。 ○ 生活や経験を振り返ったり、実験など実践的な学習を取り入れたりして、健康や安全について、児童が主体的に学べるよう配慮されている。 ○ 子供の多様性を尊重し、イラストや図は固定的なイメージの表現にならないよう配慮されている。また、児童が主体的に個別で考えたり対話的に学んだりしながら、学び方を身に付けていけるよう構成が工夫されている。 ○ 内容の構成や活動内容、関連するページなどが分かりやすいマークで示されている。前後の学年や他教科の学習内容とのつながりを明示する「つなぐ」が掲載されている。 ○ 挿絵や図表等に関連したデジタルコンテンツが用意されており、二次元コードから利用できるよう配慮されている。また、各時間の振り返りシートが用意されている。 | | | | | | |
| 4 表現と 体裁等 に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 文章は、発達の段階に応じた表現の仕方が工夫されている。重要語句は太く強調され、該当学年以降の漢字全てに振り仮名が付けられている。 ○ 児童や教師などのキャラクターが語り掛ける形式を用いるなど、児童が親しみを持って取り組むことができるよう工夫されている。 ○ 特別な配慮を要する児童の目線から、文字の大きさや字体、色彩はユニバーサルデザインに配慮しており、レイアウトやデザイン、配色等、児童が読みやすいよう工夫されている。 ○ 図表やイラスト、写真等の資料は、信頼性のある出版元の適切なものが掲載されており、見やすく、活用しやすいよう工夫されている。 ○ 環境に配慮して作成された用紙、植物油インキが使用され、環境への負荷を軽減した方式で印刷されている。2年間の使用に耐えられるよう堅ろうに仕上げられている。 | | | | | | |

| 種 目 | 英 語 | 発行者の番号・略称 | 2 | 教科書の記号・番号 | 英語 5 0 9 | 書 名 | NEW HORIZON Elementary English Course 5 NEW HORIZON Elementary Picture Dictionary NEW HORIZON Elementary English Course 6 |
|-----------------------|---|-----------|----|-----------|-------------|--------|--|
| | | | 東書 | | 5 1 0 | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目的・場面・状況を伴った言語活動が充実しており、児童が主体的に取り組むことができるよう工夫されている。各単元の目標達成に向けて4技能5領域をスモールステップで配置している。 ○ 言語活動を行う際に使いたい語句を探せる別冊のMy Picture Dictionaryや、グループで助け合いながら行う発表活動等、個別最適な学びと協働的な学びが自然に行えるような配慮がされている。 ○ 児童の発達の段階に沿って、第5学年では「日本」、第6学年では「世界」を中心に扱ったテーマ別構成となっており、身近なことから徐々に視野を広げ、深い学びにつながるようになっていく。 ○ 外国語活動からの接続と中学校への接続を意識した学習内容となっているとともに、既習事項をスパイラルに学習できるような構成になっている。 ○ SDGsなどの今日的な課題を中心に、児童が興味・関心を持つトピックを様々な分野から取り上げて掲載しており、写真や映像等、資料の出所、出典が明示されている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 中学年における音声中心の学習を受けて、徐々に読む活動、書く活動を導入するなど、発達段階に応じたバランスのよい構成になっている。また、中学年で慣れ親しんだ学習内容に繰り返し触れられる構成になっている。 ○ 単元の冒頭に目標を明示し、該当するページでそれぞれの目標に対する振り返りや自己評価ができるようになっており、自己調整力の育成につながる配慮がされている。 ○ 単元目標となる活動Your Goalを視野に入れながら、音声を聞いたり級友と会話したりすることで、学習内容の定着を図れる構成となっている。 ○ 全単元が見開き4パート構成であり、1ページ当たり1単位時間を基本とし、時間配当や年間指導計画が把握しやすい構成になっている。 ○ 児童の身近な生活を中心としたストーリーから身近な地域、日本、世界へと広がりのある配列になっており、児童の生活や各地域の実態に適合できるものになっている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ スモールステップで繰り返し学習を積み重ねる単元構成となっている。各単元の後半にあるEnjoy Communicationでは、これまで学習したことを生かし、目的や場面、状況等に応じた英語で伝え合う力を身に付けられるよう工夫されている。 ○ 「あこがれの人」「世界の行きたい国」等、児童の興味・関心を高められるような題材を扱ったり、ペアで伝え合う活動や発表の場面を設定したりすることで、主体的に英語を話したり友達の発話から相互に学びを深めたりするよう工夫がされている。 ○ アルファベットのモデル字を左右両側に配置することで、右利き、左利きどちらの児童にも見えやすいように配置するなど、細かい配慮がなされている。 ○ 世界の国々の行事や習慣等を扱うことで、他教科等との連携を図り、教科横断的な学習ができるよう工夫されている。また、デジタルマップにより日本や世界の情報を多く得ることができる。 ○ 二次元コードが掲載されており、個別の学習や家庭学習にも活用することができるようになっている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本語表記においては、振り仮名が振られており、英語表記においては、分量や内容等において学年に応じて段階的に難易度が高くなっている。 ○ 各単元の冒頭がアニメーション映像になっており、そのストーリーを通して児童が登場人物により親しみを感じやすくなるよう工夫されている。 ○ 日本語に比べ、英語の活字表記は大きく、読みやすいよう配慮されている。UDフォントを採用し、全ての児童の視覚特性に適応するデザインになっている。 ○ 大きな写真や図表が配置されており、見やすく、細部まで確認することができる。どのページにも、児童の興味・関心を高められるような写真や図表が配置されている。 ○ 再生紙や植物油インキを使用することで、環境配慮基準を満たしている。軽量の紙を使用することで、児童の負担にも配慮している。 | | | | | | |

| 種 目 | 英 語 | 発行者の 番号・略称 | 9 | 教科書 の記号・ 番号 | 英語 5 1 1 5 1 2 6 1 1 6 1 2 | 書 名 | Junior Sunshine 5 Junior Sunshine 5 Word Book Junior Sunshine 6 Junior Sunshine 6 Word Book |
|-------------------------------|--|---------------|-----|-------------------|--|--------|--|
| | | | 開隆堂 | | | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 言語活動に対する児童の主體的な取組につながるよう、コミュニケーションの楽しさや重要性を感じさせるストーリー仕立ての場面設定を工夫している。 ○ 単元で身に付けたい力を Goal として示し、その達成に向けたためあても併記されており、意欲的に見通しをもって学習に取り組むことができるよう配慮されている。 ○ 日本各地にゆかりのある人々や名所、名産を題材として扱うことで、国や地域に興味をもち、自国のことを考えたり伝えたりするきっかけとなるよう工夫されている。 ○ 相手の話を聞いて「褒める・質問する・励ます」表現例を扱うことで、よい聞き手となり、相手と言葉を使って伝え合う力が育まれるように工夫されている。 ○ 英語圏のみならず多様な地域を取り上げ、人々の様子や文化的背景等が写真やイラストで紹介されている。また、出所、出典が明示されている。 | | | | | | |
| 2 組織と 配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 音声から文字へのつながりを重視し、英語を繰り返し聞いたり使ったりする活動を十分に行った後に、文字と結び付け、書く活動につながるよう配慮されている。 ○ 見開きごとにめあてが明示されており、英語を使って考えや気持ちを伝え合う言語活動を十分に積み重ねることのでめあてが達成できるよう工夫されている。 ○ 年3回の Let's Check では、各単元で学習したことをペーパーとパフォーマンスの両面で確認することができ、児童が自分の成長を実感できるよう配慮されている。 ○ 短時間で取り組むことのできる言語活動が豊富に準備されており、帯学習や短時間学習に対応することができるよう配慮されている。 ○ 第5学年では自分のことを相手に伝える言語活動が中心となっており、第6学年では段階的に相手との伝え合いややり取りが中心となるよう工夫されている。 | | | | | | |
| 3 学習と 指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の導入段階で語彙や表現に繰り返し触れ、後半に主體的に知識・技能を生かせるような活動が設定されている。 ○ 各単元にペアやグループで活動する Let's Try や Activity が設定されており、児童が主體的に学ぶことができるよう工夫されている。 ○ 児童が伝え合うことを楽しみながらコミュニケーションを積み重ね、CAN-DO チェックで自分の成長や課題を確かめながら学習することができるよう配慮されている。 ○ 題材の設定や単元の配列において各教科等の内容や今日的な教育課題が考慮されており、他教科等と外国語科の学びを相互に深める手立てとなるマークが示されている。 ○ 学ぶことへの期待感を高める紙面構成の工夫がされており、イラストや写真、二次元コード等が適切に配置されている。 | | | | | | |
| 4 表現と 体裁等 に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 外国の子供たちの生活や文化等が、各単元で学習する表現を使って、小学校高学年の児童の発達段階に応じた適切な表現で紹介されている。 ○ 活動のイメージが持てるようなイラストや写真が配置され、児童が親しみや魅力を感じるよう配慮されている。 ○ 活字の大きさや字体は適切で、児童が書くアルファベットに近いフォントやカラーユニバーサルデザインを使用するなど「読むこと」「書くこと」の配慮がされている。 ○ 活動のタイトルデザインが統一されている。また、各活動が種類別に同じ位置に配置される紙面構成で、児童が迷わず活動できるように配慮されている。 ○ 表紙の強度が強く、ページも開きやすく堅ろうである。児童が書き込みながら学習できる環境に配慮した再生紙、植物性インキが使用されている。 | | | | | | |

| 種 目 | 英 語 | 発行者の 番号・略称 | 1 5 | 教科書の 記号・番号 | 英 語 5 1 3 5 1 4 6 1 3 | 書 名 | CROWN Jr. 5 CROWN Jr. My Dictionary CROWN Jr. 6 |
|-------------------------------|---|---------------|-----|---------------|--------------------------------|--------|---|
| | | | 三省堂 | | | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 日常生活の場面と話題を設定することで、児童が自分事として捉え、既習事項を生かしながら主体的にコミュニケーションを図ることができるよう工夫されている。 ○ どの技能と関連しているのかが分かる CAN-DO リストが My Dictionary に掲載されており、学習を振り返ったり自己評価したりすることができるよう工夫されている。 ○ 世界に目を向けるための題材だけではなく、日本の優れた文化や情報について扱うことで、違いを認め合い、互いを尊重し合う心が育まれるよう工夫されている。 ○ 各学年の Try において、「道案内」や「買い物」等、特有の場面でよく使われる表現を集中的に学習することで実践的な表現が身に付くよう工夫されている。 ○ 英語圏のみに限定せず、世界の様々な言語や文化を紹介している。また、写真や映像を含め資料の出所、出典が明示されている。 | | | | | | |
| 2 組織と 配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 三つの大単元に HOP、STEP、JUMP の学習段階が設定され、ゴールに向かってどのように学びを積み重ねていくのかが視覚的に分かるように配慮されている。 ○ 各単元では、身近な場面から単元で扱う表現に迫り、続いて言語活動を通して表現に慣れ親しみ、最後に学んだ表現を用いて伝え合う活動を行う構成になっている。 ○ 各単元には、基礎・基本の定着を目指す小ゴールが設定されており、それらのゴールを積み重ねていくことで、無理なく発展的な学習に進められる配慮がされている。 ○ 年度の初めに復習時間が十分配当されていたり、JUMP の配当時間が 2～4 時間と弾力的であったりと、各学校の年間指導計画に広く適合できる指導計画が提案されている。 ○ 第 5 学年では既知である自分のことと身の回りの事柄を題材とし、第 6 学年では調べたり考えたりすることが必要な事柄や内容を段階的に題材として扱っている。 | | | | | | |
| 3 学習と 指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ コミュニケーション活動で語句や表現を繰り返し使うよう工夫されている。また、学んだ表現を生かし、自らの思いや考えを伝えるまとめの活動が設定されている。 ○ 大単元のまとめでは、発表活動の前に児童同士で練習する時間を設けて改善点を話し合うなど、主体的・対話的で深い学びにつながる活動となるよう工夫されている。 ○ ABC Fun Box や Let's Play では、文字やゲームなど知的好奇心を促す内容が取り上げられており、楽しみながら個の学びを深めることができるよう工夫されている。 ○ 他教科等との連携が図られた題材や活動が配置されており、どの教科と連携しているのか、また、どのような学びと関連するのかが分かるようにマークが付けられている。 ○ 掲載されている二次元コードから様々なコンテンツにアクセスできる。映像や音声教材等の豊富なコンテンツによる学習のサポート体制が整っている。 | | | | | | |
| 4 表現と 体裁等 に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 第 5 学年の英語表記は単語が中心となっており、第 6 学年で段階的に文が多くなるように工夫されている。日本語表記は上位学年配当漢字に振り仮名が付けられている。 ○ 大単元の冒頭に多くの写真を配置したり、活動の様子を写真で紹介したりすることで、これから学習する内容に関して興味・関心が高まるように配慮されている。 ○ 手書き書体を採用し、きれいに書くことができるよう工夫されている。また、見え方によって不具合が生じないように、色のイラストに文字情報が付加されている。 ○ 構成が統一されており、すっきりとしたレイアウトになっている。また、書く活動の見本は記入欄のすぐ上に配置されるといった工夫がされている。 ○ 紙面が広く使えるように大判化されており、製本も堅ろうである。環境に配慮された用紙と植物油インキが使用されている。 | | | | | | |

| 種 目 | 英 語 | 発行者の番号・略称 | 1 7 | 教科書の記号・番号 | 英語 5 1 5 6 1 5 | 書 名 | ONE WORLD Smiles 5 ONE WORLD Smiles 6 |
|-----------------------|---|-----------|-----|-----------|----------------------|--------|--|
| | | | 教出 | | | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 実際の使用に即した場面設定、他者と関わりながら進めていく活動を豊富に配置し、言語活動を通して互いを尊重し、豊かなコミュニケーションを図れるようにしている。 ○ 児童自身の興味・関心や経験等を発信できる言語活動がバランスよく盛り込まれ、主体的・対話的で深い学びを実現できるよう工夫されている。 ○ 学級内での自己紹介から学校や地域、国内、海外へと、学年や単元が進むにつれて徐々に視野が広がっていくように題材が構成されている。 ○ 音声と文字、語、連語、慣用表現をバランスよく取り上げ、習得した知識や技能を実際のコミュニケーションで活用できるよう構成されているとともに、表現の定着を図れるように繰り返し使用する場面を設けている。 ○ 日本を含めた世界の多様な文化を取り上げることで、世界を身近に感じ、日本との違いだけではなく共通点も感じられる内容になっている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 2学年を通して4技能5領域が段階的に学べるように配列されており、単元が進むにつれて少しずつ「読む」「書く」の英文の数が増えるよう配慮されている。 ○ 児童が学習の見通しを立て、コミュニケーションの目的を意識して各活動を進めていけるよう、単元の冒頭に単元目標を示し、単元末で目標に関連したやり取りや発表をする構成となっている。 ○ 各単元の流れが一定であり、見る、聞く、リズムに乗って口慣らしをする、歌うなどの英語表現に慣れ親しむインプットの活動から、話す、書くアウトプットの活動へと無理なくつながるよう配慮されている。英語の歌や辞書の使い方等、発展的な内容も扱っている。 ○ 各単元7時間配当を基本とし、習得した表現を活用させる時間を十分に確保できるよう配慮されている。 ○ 自分に関することや学校生活、地域、日本についてと題材が広がるよう配列されており、児童の生活や実態に合わせた指導ができるよう配慮されている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校や家庭生活といった児童の身近な暮らしに関わる場面を中心に、レストランでの注文や道案内等の特有の表現が使われる場面をバランスよく設定し、コミュニケーションを通して言語の意味や働きを体験的に理解できるようにしている。 ○ 学校生活に合ったテーマや活動、言いたくなる、やってみたくなるような教材や活動が多く取り上げられており、主体的・対話的で深い学びを実践するための工夫がされている。 ○ 各単元の目標と振り返りの観点を明示しており、児童が学習にどう取り組むとよいかに気付いたり、目標とする姿を意識したりできるような工夫がされている。 ○ 国語や道徳等、他教科等で学んだ教材や内容、学級づくりにつながるような内容がたくさん盛り込まれており、他教科・領域との関連に配慮がなされている。 ○ 挿絵、図版、写真等は、学習活動の様子を分かりやすく示したのものや、音声や英文の内容理解を助けるものが適切に配置されている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 指示や説明文等は、外国語活動や第5学年での学習を踏まえ、各学年の発達に応じた表現で表記されている。 ○ 中学年の外国語活動を振り返ることのできる大きな1枚の絵や、日本や世界の「名所・名物マップ」等、学習意欲を高める教材が豊富である。イラストは社会の多様性を尊重し、障害のある人々等、様々な人々が暮らす様子が描かれている。 ○ 書くときのアルファベットに近い形状のフォントを使用している。4線の上下幅の比率は、4：5：4とし、書く練習がしやすいよう配慮されている。 ○ 活動の種類を表すタイトルデザインが統一されているほか、イラスト・写真が活動の内容に応じてバランスよく配置されており、学習内容がより伝わりやすいものになっている。 ○ 製本が堅ろうであり、環境に優しい再生紙と植物油インキを使用している。児童が書き込みしやすい用紙を用いている。 | | | | | | |

| 種 目 | 英 語 | 発行者の 番号・略称 | 3 8 | 教科書の 記号・番号 | 英 語 5 1 6 6 1 6 | 書 名 | Here We Go! 5 Here We Go! 6 |
|-------------------------------|--|---------------|-----|---------------|-----------------------|--------|--------------------------------|
| | | | 光村 | | | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 目的や場面、状況を明確にしたストーリーのある場面設定により、場面や状況に合った自然なコミュニケーションを身に付けることができるよう工夫されている。 ○ 児童が興味・関心をもち、意欲が高まるようなゴール活動が設定されており、誰に何のために伝えるのかという視点を大切にした言語活動が設定されている。 ○ 児童を英語の世界へ引き込む、続きを見たくなるアニメや、児童が興味を持ち、口ずさみたくなるチャンツ・歌・絵本教材等、意欲を高める工夫が多く見られる。 ○ 基礎的・基本的な内容が着実に身に付けられるように、各単元・教材のねらいが明確にしてある。また、十分な聞く・話す活動の後に、文字、単語、語句、文と段階を踏んで無理なく読む・書く活動につながるよう工夫されている。 ○ 話題・題材は地域的な偏りがなく、国際的視野が育つようにバランスの取れた構成になっており、写真や映像を含め資料の出所、出典が明示されている。 | | | | | | |
| 2 組織と 配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元は全て Hop、Step、Jump で構成されており、聞く・話す・書く・読む活動がスモールステップで進められるよう配慮されている。 ○ Hop ページに単元のゴールを示し、バックワードデザインで単元を構成することで、単元で「できるようになること」を意識して学習が進められるよう工夫されている。 ○ 言語材料の配列が工夫されている。場面を変えてスパイラルに既習表現に出会うことで基礎・基本の定着を図り、「まとめ」で発展的な学習ができるよう配慮されている。 ○ 全体は八つの単元と三つのまとめで構成されており、3学期制、2学期制のどちらにも対応できるよう、教材の分量と領域のバランスが工夫されている。 ○ 自分の身近なことから地域、日本、世界、将来のことへと広がりのある配列となっており、児童の生活や各地域の実態に広く適合できるものになっている。 | | | | | | |
| 3 学習と 指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学ぶことが視覚化された CAN-DO リストが示され、豊かなインプットから少しずつアウトプットに進む学習の流れとなっており、単元ごとに聞く活動から話す活動、書く活動へと自然に行うことができるコミュニケーション活動が配置されている。 ○ ペアやグループで活動する Let's Try や You can do it! が設定されており、児童が主体的に学ぶことができるよう工夫されている。 ○ 単元や「まとめ」の最後には「ふりかえろう」の欄が設けられ、自己評価を付けて達成度を把握できるようになっており、児童が自己の学びを調整しながら学習できるよう配慮されている。 ○ キャリア教育・防災教育の視点やSDGs を取り上げるなど、他教科等との関連が図れる題材が工夫されている。 ○ 二次元コードが配置され、学習に必要な全ての音声や映像、言語活動のモデル映像等を視聴することができる。 | | | | | | |
| 4 表現と 体裁等 に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 日本語の表記においては、当該学年までに学ぶ漢字を使用している。当該学年に学ぶ漢字は全て振り仮名が振られるなど、学習の習熟の状況や外国籍の児童に配慮されている。 ○ 内容を推測しやすく、コミュニケーションの目的や場面、状況が捉えやすいよう、写真やイラストを適切に配置し、学習に効果的に使用できるよう配慮されている。 ○ 活字の大きさや字体は適切で印刷は読みやすい。特に、色覚特性に対応するために配色・色調にも配慮されている。 ○ どの単元も統一された配置で、イラストや写真を大きく掲載するなど、学習内容や方法がイメージしやすいようにバランスよくレイアウトされている。 ○ 環境に負担の少ない用紙を使用し、印刷にはエコマーク認定の植物性インキを使用するとともに、堅ろうな製本になっている。 | | | | | | |

| 種 目 | 英 語 | 発行者の番号・略称 | 6 1 | 教科書の記号・番号 | 英語 5 1 7 6 1 7 | 書 名 | Blue Sky elementary 5 Blue Sky elementary 6 |
|-------------------------------|--|-----------|-----|-----------|----------------------|--------|--|
| | | | 啓林館 | | | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 実際のコミュニケーションで活用できる技能を養えるよう、Activity 等の言語活動が充実しており、学んだ英語を使って互いの考えや気持ちを伝え合う構成となっている。 ○ 児童自らが学習を振り返ることができるよう、各単元で学習する語句や表現が Step 1、2 に提示されている。また、二次元コードを利用し、個別学習ができるよう工夫されている。 ○ 言語や文化に対する理解を深め、児童の学習意欲を高めることができるよう、児童にとって身近な題材や児童の興味・関心を高める異文化の情報等を扱っている。 ○ Step 1、2 で学習したことを生かして Activity で言語活動を行ったり、映像に合わせて英文を言ったりするなど、各単元の内容を発展的に学ぶことができる構成となっている。 ○ 写真や映像を通して、様々な人種の人々や世界で話されているいろいろな英語、多様な文化に触れることができる。また、出所、出典が明示されている。 | | | | | | |
| 2 組織と 配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元に三つの Step が設けられ、インプットとアウトプットを繰り返しながら少しずつ語句や表現を積み上げていくことができる。 ○ 各単元の最初に単元全体のめあてと各 Step のめあてが明示されており、児童が学習内容や目標を意識して効果的に学習できるよう配慮されている。 ○ Words and Phrases やチャンツで語句や表現に十分に慣れ親しんだ後で、学習したことを Activity で活用するという流れにより、学びを深める工夫がされている。 ○ 時間的に余裕を持って指導できるように年間配当時数が設定されているため、各学校の年間指導計画に広く適合できる。 ○ 第5学年では自分自身のことや身近な人の紹介等、第6学年では自分たちの町・地域、学校の行事等が扱われており、どの地域でも扱いやすい内容になっている。 | | | | | | |
| 3 学習と 指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的な語句や表現を身に付けられるよう、インプットとアウトプットを繰り返し、語句や表現に慣れ親しむことができる構成となっている。また、Activity では、題材を自分のこととして捉え、考えることができるよう配慮されている。 ○ 児童の発表ややりとりの例が Hints として映像で紹介されており、それを視聴することで、児童が主体的に自分の発表を改善したり工夫したりすることができる。 ○ 各単元でめあてを確認し学習の見通しを立て、最後に振り返りをすることで自己の学びを調整し、二次元コードを活用した家庭学習につなげられるよう配慮されている。 ○ 日本語との語順の違い、世界の国の行事や習慣、世界の SDG s の取組等、他教科等との連携を図り、教科横断的な学習ができるよう工夫されている。 ○ 児童が学習の流れを把握し見通しを持てるよう、巻頭に学習の手引きが掲載されている。各ページに挿絵と図表があり、児童が効果的に学習できるよう工夫されている。 | | | | | | |
| 4 表現と 体裁等 に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 映像に合わせて英文を言う活動では、第6学年で英語の分量が増えるなど、学年に応じた配慮がされている。 ○ 児童が親しみを持てるような動物等のイラストが使用されている。アニメーションを視聴することにより、児童が登場人物に魅力を感じられるよう配慮されている。 ○ 誰にでも識別しやすいUDフォントが使用されている。大きなA4版で行間にゆとりがあり、文章が読みやすいよう配慮されている。絵や写真の印刷についても鮮明で見やすくなっている。 ○ 地図については折り込みを使用しているため、大きく細部まで見ることができる。Activity 等で児童が教科書に書き込む際にも十分なスペースが確保されている。 ○ 植物油インキ・再生紙を使用し、アレルギーや環境に配慮している。開きやすい綴じ方で作成され、強度が保たれるよう工夫されている。 | | | | | | |

| 種 目 | 道 徳 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 2 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 道 徳 1 1 2 2 1 2 3 1 2 4 1 2 5 1 2 6 1 2 | 書 名 | 新編 あたらしい どうとく 1 新編 新しい どうとく 2 新編 新しいどうとく 3 新編 新しいどうとく 4 新編 新しい道徳 5 新編 新しい道徳 6 |
|---|---|---|----|---|--|--------|--|
| | | | 東書 | | | | |
| 1 内 容 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な感じ方や考え方を引き出せるような教材を多く取り上げ、対話を通して自分の価値理解を広げ深められるように工夫されている。 ○ 今日的な課題である「いじめ」「命」「自己肯定感」「情報モラル」「防災」について考えることのできる教材が、全学年を通して設定されている。 ○ 児童の発達の段階や生活経験に応じて価値理解が深めやすいように、教材の場面や登場人物の設定が吟味されている。 ○ 児童が先入観を持たずに自己と向き合い、考え、議論することができるように、教材の冒頭は情報量を抑えたり、登場人物の心情説明の文言を削減したりしたりするなどの内容の工夫が見られる。 ○ 生き方のモデルとなるような実在の人物のエピソードや、児童の日常生活と重なるような教材文、また、客観的に捉えやすく考える必然性が感じられる物語文など、偏りのない教材文が揃っており、出所、出典も明記されている。 | | | | | | |
| 2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 冒頭に、道徳科の学び方について知るオリエンテーションのページと、まとまりごとに自分を振り返るページが設けられ、児童自身が自らの成長に気付けるように工夫されている。 ○ 教材文の後に各教科等との関連が意識付けられるようなコラムがあり、道徳科で考えたことを日常生活や各教科等に繋げて考えられるように配慮されている。 ○ 全学年で「いじめ」に関連した複数の教材文を連続して配置し、内容項目を関連的・発展的に捉えられるように工夫されている。また、低学年では「いじめ」に関わる図書、中学年ではソーシャルスキル、高学年では法律をそれぞれ紹介し、発達の段階に応じた学習ができるように構成されている。 ○ 全学年ともに、2学期制、3学期制に対応できるよう四つの視点を網羅して教材文を配置している。また特に、1学期は低学年では視点A、2学期は全学年ともに視点Cを多く扱う等、その時期によって重点を置いた配置がなされている。 ○ 児童の生活や学校行事に合わせた教材の配列になっており、各学校の年間指導計画に適合できるように工夫されている。 | | | | | | |
| 3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各教材文において、これまでの自分の体験を想起するような「自己を見つめる発問」が掲載されており、自分との関わりで価値理解を深められるように工夫されている。 ○ 全学年において、問題解決的な学習と役割演技、動作化などの体験的な学習を取り入れた学習の流れが紹介されており、児童に学び方を示すことでより主体的な学びを促すように工夫されている。 ○ 教材文に朗読音声や支援動画を用意するなど、多様な教材の提示方法により、児童の個性や能力に応じた学びが進められるように配慮されている。 ○ 教材文の後のコラムや巻末の「教材一覧表」に他教科・領域との関連が明示されており、児童自身が道徳科の授業で考えたことと他教科・領域での活動を関連付けて考えられるように配慮されている。 ○ 関連するウェブサイトへ遷移する二次元コードは、教材の冒頭の定位置に掲載されており、児童がアクセスしやすいよう配慮されている。 | | | | | | |
| 4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 当該学年の一つ下の学年までの配当漢字が使用されており、読解に時間を掛けないよう配慮されている。 ○ 印刷は鮮明で見やすく、目に優しい色を基調に構成されており、児童が教材として活用しやすいよう配慮されている。 ○ 教材文は、読みやすいよう文字の大きさや行間を変えるなど、児童の発達の段階に配慮されている。 ○ 効果的に写真や挿絵等を配置したり漫画を活用したりして、視覚的に理解を深められるように工夫されている。 ○ 環境にやさしい再生紙や化学物質を抑えた植物油インキが使用されているなど、環境やアレルギーに配慮されている。 | | | | | | |

| 種 目 | 道 徳 | 発行者の番号・略称 | 1 7 | 教科書の記号・番号 | 道 徳 1 1 3 2 1 3 3 1 3 4 1 3 5 1 3 6 1 3 | 書 名 | しょうがくどうとく1 はばたこうあすへ 小学どうとく2 はばたこう明日へ 小学どうとく3 はばたこう明日へ 小学道徳4 はばたこう明日へ 小学道徳5 はばたこう明日へ 小学道徳6 はばたこう明日へ |
|-----------------------|---|-----------|-----|-----------|---|--------|---|
| | | | 教出 | | | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自己の生き方についての考えを深める多様な教材を掲載しており、児童が道徳的価値を自分との関わりで考え、友達と話し合う活動を充実させることができるように工夫されている。 ○ 人間としての在り方や生き方、いじめ問題への対応、情報モラルについて考えを深めることを重視し、6年間を通して系統的に指導できるように工夫されている。 ○ 児童の発達に段階に応じた内容となっており、低学年は物語教材、中学年は生活教材、高学年は人物教材をそれぞれ中心として、児童が問題意識を持ち、主体的に考えることができるように配慮されている。 ○ 「学びの手引き」の中に「つなげよう」が設けられ、学んだ道徳的価値について学校の教育活動や日常生活と関連付けて考え、生かすことができるような設問が工夫されている。 ○ 長く親しまれてきた教材や現代的な課題と向き合う教材に加えて、新たに創作された教材も多く、多様な文化や価値観の変化への対応に配慮されている。 | | | | | | |
| 2 組織と配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「学びのガイダンス」、各教材末の「自己評価欄」、巻末の「学習の振り返り」で構成され、児童が自らの成長を実感し、学習意欲を高めていくことができるように配列が工夫されている。 ○ 内容項目ごとにまとめず指導時期を変えて教材を配列しており、一定の期間を経た児童の成長を見取ることができるよう工夫されている。 ○ 各学年で重点テーマを設定しており、複数の教材と読み物を配置し、内容項目を関連的・発展的に捉えることで学習効果が高まるよう工夫されている。 ○ 本教材30点で全ての内容項目を押さえ、補充教材5点（第1学年4点）と地域教材や自作教材を差し替えることで、学校の実態に応じた年間指導計画を作成しやすくなるように配慮されている。 ○ 学習時期と教材内容の季節が一致するよう教材が配列されており、児童の主体的な学びを促すよう工夫されている。 | | | | | | |
| 3 学習と指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクターによる「導入」が設けられており、学習のねらいを明確に把握させ、児童の興味・関心や問題意識を高めることができるように工夫されている。 ○ 「学びの手引き」の中に「問題を解決しよう」が設けられ、問題解決的な学習の中で児童自ら問題を見付け、主体的に考えたり、対話を通して考えを深めたりすることができるよう工夫されている。 ○ モラルスキルトレーニングや役割演技などの体験的な学習を取り入れた教材が設定されており、道徳的価値に対する理解を深めることができるように工夫されている。 ○ 児童の学校生活に即した題材を取り上げ、巻末の「学習内容一覧」に各教科等や特別活動との関連が明示されている。 ○ 挿絵、写真が効果的に掲載されており、児童が自由な考えや視点で問題を探し出したり、分かりやすく考えたりすることができるように工夫されている。 | | | | | | |
| 4 表現と体裁等に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 難解な語句の意味が示されていたり、「教材の解説」で教材文の内容理解を助けたりするなど、学年に応じて適切に表現されている。 ○ 読み物教材だけでなく、一枚絵や絵本形式、漫画形式の教材を取り入れ、児童が教材に親しみながら、ねらいとする道徳的価値について考えを深めることができるように工夫されている。 ○ 書体は誤読されにくいUDフォントが使用され、判別しやすい配色にするなど読みやすさに配慮がなされている。また、挿絵や写真は鮮明で見やすい色調である。 ○ 教材の登場人物や挿絵には、性別の偏りが出ないように配慮されている。 ○ 再生紙と植物油インキを使用し、表紙には抗菌加工を施している。ページ数が抑えられ、用紙が軽量化されており、児童の身体的な負担を軽減するよう配慮されている。 | | | | | | |

| 種 目 | 道 徳 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 3 8 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 道 徳 | 書 名 | どうとく1 きみがいちばんひかるとき どうとく2 きみがいちばんひかるとき どうとく3 きみがいちばんひかるとき どうとく4 きみがいちばんひかるとき 道 徳 5 きみがいちばんひかるとき 道 徳 6 きみがいちばんひかるとき |
|---|--|---|-----|---|--|--------|--|
| | | | 光村 | | 1 1 4 2 1 4 3 1 4 4 1 4 5 1 4 6 1 4 | | |
| 1 内 容 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「主体的な学び」「対話的な学び」が重視されており、児童が学びの見通しを持ち、話し合い活動から様々な考えに気付くことができるように工夫されている。 ○ 「いじめ問題」「情報モラル」などの問題については、教材文と著名人の体験談や具体的な事例等を組み合わせて学習できる構成となっており、児童がじっくりと考えられるよう配慮されている。 ○ 低・中学年はシールで、高学年は記述式で自己評価をすることができ、児童が自身の成長を実感し、学ぶ意欲につながるよう工夫されている。 ○ 学習の手引き「つなげよう」には、日常や他教科の学習につなげられるようなヒントや自分を見つめるための投げ掛けが示されており、学習の充実や発展を図ることができる。 ○ 「生命の尊厳」「自然」「伝統と文化」「先人の伝記」「スポーツ」「情報化への対応」等の教材がバランス良く配列されており、出所、出典が明記されている。 | | | | | | |
| 2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校生活の実態と、それに伴う児童の成長を考慮して、1年間を見通した構成がなされている。「心を通わそう」「考える準備たいそう」等のページもあり、日常生活を意識したり、次の道徳の学習に生かしたりすることができるように工夫されている。 ○ 学習の手引き「考えよう・話し合おう」には、児童が教材を通して何を学ぶのかを意識できるよう「テーマ」と「問い」が示され、学習のねらいを捉えやすくなっている。 ○ 学年ごとの重点項目は、複数の教材やコラム、付録で扱われている。児童や学校の実態に応じて効果的な指導を行うことができるよう配慮されている。 ○ 各学年に35点（第1学年のみ34点）の教材が用意されている。巻末には各学年の内容項目別教材一覧があり、各学校の年間指導計画に生かせるよう配慮されている。 ○ 学習の時期を考慮し、児童の生活に合わせた教材配列になっている。付録には思考ツールや各地域の伝統文化についてのページがあり、各地域の実態に広く適合できるよう配慮されている。 | | | | | | |
| 3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の手引き「考えよう・話し合おう」には、自分との関わりをもとに考えたり、問題を解決するために話し合ったりすることができるような発問が設定され、児童が多面的・多角的に考えられるよう配慮されている。 ○ 読み物教材だけでなく、漫画形式の教材、見開きの一枚絵や写真からなる教材等、多様な教材が位置付けられ、児童の経験や興味・関心に合わせた指導ができるように工夫されている。 ○ 教材文の合間に「考えるヒント」のページがあり、一人一人の個性や能力に対応できるように配慮されている。 ○ 学習の手引きに、関連する教科を示すマークが付いており、児童が意識できるように工夫されている。巻末にも、各教科等や現代的な問題との関わりが明記され、関連を図った指導に役立てることができる。 ○ 学習の手引きが一つ一つの教材に設けられている。登場人物の挿絵には名前が明記され、児童の理解を助け、話し合い活動の時間が確保できるように配慮がなされている。 | | | | | | |
| 4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 発達段階に応じた表記及び表現が工夫されている。当該学年以上の漢字には全て振り仮名が付けられており、読みの負担を軽減するための配慮がなされている。 ○ 著名人の体験談や絵本作家の書き下ろしの教材があるなど、児童が親しみや魅力を感じるよう配慮されている。 ○ 学年に応じた適切な文字の大きさとなっている。また、ユニバーサルデザインの観点から色合いや書体が工夫されており、見やすさへの配慮が見られる。 ○ 挿絵や図表等が効果的に配置されている。全学年で統一したマークの使用や紙面構成により、児童が学習の流れを捉えやすいように配慮されている。 ○ B5判より横幅がやや広く、児童が手に持ちやすく扱いやすい判型になっている。光の反射を抑えた紙や植物油インキが使用されており、健康や環境への配慮がある。 | | | | | | |

| 種 目 | 道 徳 | 発行者の 番号・ 略称 | 1 1 6 | 教科書 の記号・ 番号 | 道徳 1 1 5 1 1 6 2 1 5 2 1 6 3 1 5 3 1 6 4 1 5 4 1 6 5 1 5 5 1 6 6 1 5 6 1 6 | 書 名 | しょうがくどうとく いきる ちから 1 しょうがくどうとく いきる ちから 1 どうとくノート 小学どうとく生きる力2 小学どうとく生きる力2 どうとくノート 小学どうとく生きる力3 小学どうとく生きる力3 どうとくノート 小学道徳 生きる力4 小学道徳 生きる力4 道徳ノート 小学道徳 生きる力5 小学道徳 生きる力5 道徳ノート 小学道徳 生きる力6 小学道徳 生きる力6 道徳ノート |
|-------------------------------|--|-------------------|-------|-------------------|--|--------|--|
| | | | 日 文 | | | | |
| 1 内容に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「現代的・社会的課題への対応」「伝統と文化の尊重と国際理解」「社会の持続可能な発展」を重点課題とし、児童が実社会へと視野を広げられるように工夫されている。 ○ 「いじめ防止」「学校防災・安全」「情報モラル」等、今日的課題について複数の教材が配置され、多面的・多角的な視点から考えられるように工夫されている。 ○ 児童の発達の段階を考慮した内容であり、1年間や6年間を通した系統性が確保されている。また、「保・幼・小・中」の校種間の連携にも配慮された内容となっている。 ○ 教材と関連した内容や道徳科以外の教育活動との関連が明示されており、「心のベンチ」の様々な活動によって、道徳科の学びを広げ、深める発展的で充実した学習が展開できるように工夫されている。 ○ 「キャリア教育」「防災教育」「国際理解」「伝統文化」「社会参画」「安全教育」「法教育」等、多様なテーマの教材が偏りなく配置されており、出所、出典が明確である。 | | | | | | |
| 2 組織と 配列に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「オリエンテーション」「本編教材」「ふろく」で構成され、適宜「コラム」が配置してある。各教科等の学習や様々な活動との関係を考慮して配置されている。 ○ 教材に入り込むための発問例が示されており、児童がねらいを明確に捉え、見通しを持って学習できるように配慮されている。 ○ 重要なテーマに関わる教材は複数配置されている。いじめ防止については、いじめを「間接的に扱った教材」、「直接的に扱った教材」、「いじめ防止コラム」の三つをいじめ防止ユニットとして年3回設定し、集中的に学習できるよう工夫されている。 ○ 各学年とも35点（第1学年のみ34点）の主教材と、学びを広げ深めるコラムが5点収められ、年間指導計画作成に際して幅広い選択ができるように配慮されている。 ○ 学校行事、各教科等の学習内容、伝統的な行事の実施時期等との関係を考慮した教材配列となっている。全国各地の魅力的な素材が教材化されており、地域教材の活用だけでなく、教材開発の参考となるよう工夫されている。 | | | | | | |
| 3 学習と 指導に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自由記述欄が設けられており、自己を見つめたり、学びを言葉にして共有したり、自分とは異なる意見を記録したりできるよう工夫されている。 ○ 問題解決的な学習や、体験的な学習を取り入れることが適切と考えられる教材の後には「ぐっと深める」が挿入され、ねらいに迫る深い学びが実現できるようになっている。また、三つの発問例が示され、児童が主体的に学習を進められるように工夫されている。 ○ 朗読音声、朗読動画、動画、画像等のデジタルコンテンツが豊富であり、教材理解を助け、児童の多様な個性や能力に寄り添い対応できるよう配慮されている。 ○ 各教科等の素材を教材として開発・掲載されている。また、巻末の学習内容一覧に「他教科等との関連」が明示され、児童の体験をもとに思考を深められるよう工夫されている。 ○ 巻頭に、学習の内容や学習方法が示され、写真やイラスト、図表が適切に配置されている。また、関連資料につながる二次元コードが示され、ICT機器を活用した個別最適な学びに対応している。 | | | | | | |
| 4 表現と 体裁等 に 関すること | <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材文は見開き単位で構成され、行間を広くし、読みやすくなっている。また、当該学年以上の漢字には全て振り仮名が付けられ、読みの負担が軽減されている。 ○ 内容項目A～Dを示すマークや、全学年に共通して登場する個性的なキャラクターの活用等、児童が親しみをもち、主体的な学びとなるよう工夫されている。 ○ UDフォントを使用し、文字の大きさ、カラーバリエーション等、個の学びに寄り添う配慮がなされている。 ○ AB判を採用し、写真やイラストが大きく掲載され、見やすくなっている。教材や挿絵はジェンダー等の多様性に留意され、人権尊重の配慮がなされている。 ○ 表紙はコート紙を用いて汚れにくくなっており、製本は堅ろうなあじろ綴じが採用されている。また、印刷には植物油インキと軽量の再生紙を使用し、環境への配慮がなされている。 | | | | | | |

| 種 目 | 道 徳 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 2 0 8 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 道 徳 1 1 7 2 1 7 3 1 7 4 1 7 5 1 7 6 1 7 | 書 名 | しょうがく どうとく ゆたかな こころ1ねん 小学 どうとく ゆたかな こころ 2年 小学どうとく ゆたかな心 3年 小学道徳 ゆたかな心 4年 小学道徳 ゆたかな心 5年 小学道徳 ゆたかな心 6年 |
|---|---|---|-------|---|--|--------|---|
| | | | 光文 | | | | |
| 1 内 容 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の手引きで「道徳の時間」について説明し、考え方や話し合い方について具体的な方法を示すことで、他者と対話したり協働したりしながら、多面的・多角的に考えることができるように工夫されている。 ○ 発達の段階に合わせた情報機器の使い方や情報モラルに関する内容を全学年で扱っており、児童自身の生活と結び付けながら考えられるよう配慮されている。 ○ 身近な話題を取り上げることで、現代的な課題に向き合うことができるとともに、自分との関わりとして考えることができる。 ○ 実際の問題場面を想定した体験的な活動を通して自分自身を振り返り、自分のよさを確認することで自己肯定感を高め、自己や社会の未来に夢や希望をもって生活していけるように配慮されている。 ○ 「伝統的な昔話」、「先人の伝記」、「現代的な課題」と幅広い内容を扱っており、現代社会における多様な価値観に対応している。 | | | | | | |
| 2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末には内容項目別教材一覧が記載されており、各教科等との関連について示してある。また、同じ内容項目を続けて配置することで、道徳的価値についての理解をさらに深められるように工夫されている。 ○ 主題に関わる問題意識を持たせるために、教材の初めに内容項目に合わせた疑問文が記載されており、導入で目的意識を持たせて学習に取り組みさせることができるように工夫されている。 ○ 「課題予防的生徒指導」を踏まえ、全学年で実際に起こりうる事例を基に「いじめをうまな心」として重点的に指導できるように工夫されている。 ○ 巻末に内容項目別教材一覧があることで、複数時間配置されている内容項目が一目で分かるように配慮されており、各学校の重点内容項目に合わせ、自作教材等で内容項目を変更することも可能である。 ○ 各学年に選択教材が準備されており、児童や地域の実態に合わせて弾力的に学習できるように工夫されている。 | | | | | | |
| 3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ どの教材にも、「かんがえよう」という問い掛けがあり、教材の内容を自分との関わりで考えさせ、教材を通してこれからの自己の生き方について考えを深めていけるように配慮されている。 ○ 身近な話題についての教材が多いため、児童の興味・関心から児童自身の経験を基にして考えさせることを通して協働的な学びを充実させ、主体的・対話的で深い学びにつながれるように工夫されている。 ○ 動画や音声等で内容を理解することができるようになっており、多様な個性や能力に寄り添い、学習を進められるように配慮されている。 ○ 生活科、理科、社会科等に関連する教材があり、各教科等で学んだ内容を生かして道徳的価値について理解できるよう工夫されている。 ○ 二次元コードで、道徳的価値を深めるインタビュー等を視聴することができるよう工夫されている。 | | | | | | |
| 4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の学習内容に応じた表現がされており、人名や地名、英語での表現、学習していない漢字については、振り仮名が付けられ、読みやすくなっている。 ○ 表紙には日常的な様子や地域での活動についてのイラストがあり、内容に合わせた写真や挿絵が多く使用されていて、児童が親しみやすいように工夫されている。 ○ 低学年は大きいフォント、高学年は小さいフォントと発達の段階に合わせて文字の大きさが調整されており、見やすいように太字で表記されている。 ○ 全ての教材に挿絵や図表等があり、文字量とのバランスも良い。文章だけでなく、挿絵、図表から内容を把握することもできるように工夫されている。 ○ 表紙に厚紙を使用しており、剥離しにくく接着されている。また、印刷には植物インキを使用しており環境への配慮がある。 | | | | | | |

| 種 目 | 道 徳 | 発 行 者 の 番 号 ・ 略 称 | 2 2 4 学研 | 教 科 書 の 記 号 ・ 番 号 | 道 徳 1 1 8 2 1 8 3 1 8 4 1 8 5 1 8 6 1 8 | 書 名 | 新版みんなのどうとく 1 新版みんなのどうとく 2 新版みんなのどうとく 3 新版みんなの道徳 4 新版みんなの道徳 5 新版みんなの道徳 6 |
|---|---|---|-----------------|---|---|------------|--|
| 1 内 容 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ プラス思考と未来志向を備えた児童の育成を目指し、教材を生かした様々な授業展開に柔軟に対応できるよう工夫されている。 ○ 内容項目「生命の尊さ」を土台とし、「いじめ防止」に関連する教材が年間を通してバランスよく配置され、様々な内容項目から考えることができるよう工夫されている。 ○ 巻頭では今の自分を見つめ、巻末では1年間の学びを振り返るページが設定され、児童が自身の成長を振り返り、課題や目標を見付けることができるよう工夫されている。さらに、1年間の学びの見通し・学年間のつながり・校種間のつながりにも配慮されている。 ○ 各学年の特設ページでは、教材の関連情報から多面的・多角的に道徳的価値を考えたり、問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習に発展できるようにしたりと児童が考えを深める工夫がなされている。 ○ 読み継がれている教材や現代的課題に関連する教材等、多様であり、バランスよく配置されている。また、教材文の他に挿絵についても出所が明示されている。 | | | | | | |
| 2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 同じ内容項目の教材は、児童の生活実態や発達の段階を考慮し、学年ごとに内容の深まりや視点の広がりなどを意識した構成・配列となっている。 ○ 主題名を教材本文の前ではなく、巻末に提示し、特定の価値観を押し付けることなく、児童が主体的に学びを深めることができるよう配慮されている。 ○ 「いのちの教育」を重点とし、内容項目「生命の尊さ」の教材は全学年で3点用意されている。さらに、「いのちのユニット」では、異なる内容項目の教材を組み合わせることで多面的・多角的に考えることができるよう配慮がなされている。 ○ 内容項目の数や分量は、バランスよく組織されている。第1学年は34点、第2～6学年は35点の教材が用意され、各校の年間指導計画に適合しやすいように配慮がなされている。 ○ 時期を考慮し、児童の生活に合わせた教材の配列がなされている。また、日本の各地域に関連した内容も掲載され、地域社会に根ざした学びに向けた工夫がなされている。 | | | | | | |
| 3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ いのち・多様性・キャリアの三つのユニット教材では、内容項目が異なる2教材を連続して学ぶことで児童がよりよく生きることについて多面的・多角的に考えを深めることができるよう工夫されている。 ○ 各学年の「深めよう」では、問題解決的な授業の流れが提案されており、児童が主体的に考え、判断し、意欲的に学習できるよう工夫されている。 ○ 現代社会の多様性に即した内容が設定されており、一人一人の個性に合わせ、人権感覚の育成につながるよう配慮されている。 ○ 各学年に各教科等での道徳性の育成につながる教材が用意されており、相互に関連を図って指導できるよう配慮されている。 ○ 図表や挿絵、写真の配置は、視覚的に捉えやすいよう、本文との関係性に配慮されている。また、デジタルコンテンツがある教材のタイトル下部には二次元コードが配置され、アクセスしやすいよう工夫されている。 | | | | | | |
| 4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と | <ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字の振り仮名は学年に応じて付けられており、教材文は改行や行間に配慮がなされ、表記、表現が適切である。 ○ 視認性を考慮し、四つの視点や現代的な課題について、分かりやすいマークで表現されている。 ○ 児童の発達の段階に応じて、文字の大きさに配慮されており、字体はUDフォントで統一されている。また、色彩も視覚特性の観点からユニバーサルカラーに対応している。 ○ AB版の紙面を採用し、挿絵・写真・図版などの資料を活用して学びが深められるよう工夫がなされている。 ○ リサイクル性の高いのりを使い、環境に配慮して作られた紙・インキを採用するなど、環境への配慮がなされている。 | | | | | | |